

内容

巻頭言：就職活動を始めるにあたって	1
就職活動を始めるにみなさんへ	2
参考：大学全体・学部レベルの就職支援について	5
人文学部の就職状況	6
先輩からのアドバイス：2019年度4年生就職活動手記（一部2018年度卒業生分有）	11
【文化学科】	
「自分」と向き合う機会 S.M【(株)イビソク】建設業	11
計画性をもって A.S【ダイキン工業(株)】製造業	12
就活では自信満々の強気の自分であること	
S.N【ソニーグローバルマニファクチャリング&オペレーションズ(株)】製造業	13
フットワーク良く挑戦しよう！	
S.M【(株)オービックオフィスオートメーション】情報通信業	14
一番を目指すつもりで丁度いい N.R【(株)日本経済新聞社】情報通信業	15
笑顔とコミュニケーション能力の強化を	
I.S【(株)日通・パナソニックロジスティクス】運輸業	16
就活は不安にならなくて大丈夫	
S.S【中部国際空港旅客サービス(株)】運輸業	17
自分に合う企業を見つけるために E.R【(株)良品計画】小売業	18
自分らしさを忘れずに A.R【(株)三重銀行】金融業	19
自分の軸をしっかりと持つ G.H【東京海上日動火災保険(株)】保険業	20
合同説明会には多くの参加を N.M【(株)三井住友海上火災保険】保険業	21
自分に負けない強さを持って	
T.Y【岐阜県立中学校国語教員】教育、学習支援業（2018年度卒業）	22
視野を広げて、周りも頼って	
K.K【愛知県信用農業協同連合会】複合サービス業	23
自分が何を仕事にしたいか	
I.K【独立行政法人日本芸術文化振興会】生活関連サービス業	24
できることを丁寧にこなす	
K.M【(農業水産省)林野庁中部森林管理局】国家公務員	25
諦めないで最後まで向き合うことが大切！	
I.T【三重県庁】地方公務員（2018年度卒業）	26
就活に縛られない！ S.K【三重県庁】地方公務員	27
ありのまま N.R【三重県庁】地方公務員（2018年度卒業）	28

最後まであきらめない気持ちが大切		
T. A 【(三重県) 四日市市役所】 地方公務員 (2018 年度卒業)	29
自信をもって選考に臨むことが大切		
K. M 【(愛知県) 稲沢市役所】 地方公務員 (2018 年度卒業)	30
自分をよく知ること		
M. Y 【(愛知県) 豊田市役所】 地方公務員	31
【法律経済学科】		
[Take it easy] ▶ 気楽に行こうぜ		
S. K 【住友電装 (株)】 製造業	33
就活を楽しむ		
Y. R 【シンフォニアテクノロジー (株)】 製造業	34
いかに自分という人間を表現できるか		
I. Y 【トヨタ自動車 (株)】 製造業	35
業界研究、企業研究はしっかりと		
M. K 【(株) NOK】 製造業	36
とにかく動くことが大切		
Y. Y 【東海カーボン (株)】 製造業	38
真面目に過去・将来を見つめる		
M. M 【東邦ガス (株)】 電気・ガス・熱供給・水道業	39
最小限の労力で最高の結果を		
K. M 【(株) NTTドコモ】 情報通信業	40
事前準備でいい就活のスタートを切る！		
S. N 【(株) アビームシステムズ】 情報通信業	41
情報収集が重要		
N. T 【(株) オービック】 情報通信業	42
早くからの準備が大事		
Y. K 【(株) 三重電子計算センター】 情報通信業	43
多様な経験・考えを得ることが大切		
I. K 【(株) 中日新聞社】 情報通信業	44
最初の準備を大切に		
T. N 【中部国際空港 (株)】 運輸業	45
早めの準備と、相談が大事		
N. Y 【三重交通 (株)】 運輸業	46
自分に自信を持ち続けること		
M. A 【名古屋鉄道 (株)】 運輸業	47
後悔をしないために		
S. T 【ブラザー販売 (株)】 卸売業	48
就活の軸と一貫性を大切に		
I. A 【タキヒヨー (株)】 小売業	49
企業理念を知ることが企業分析の軸に		
O. M 【(株) ジェイアール東海高島屋】 小売業	50
はじめから業界を絞るな！		
H. H 【(株) 日本政策金融公庫】 金融業	51
自分を知り、企業を知る重要性		
M. J 【(株) 大垣共立銀行】 金融業	52
自分の考えを大切に		
N. Y 【(株) 名南コンサルティングネットワーク】 専門サービス業	53
最後まで諦めない		
O. A 【国立大学法人三重大学】 教育・学習支援業	54
周りに流されず「自分のペース」で		
N. T 【日本年金機構】 医療・福祉	55
継続することが大切です		
K. Y 【(厚生労働省) 三重労働局】 国家公務員	56
自分自身を見つめ直す		
M. C 【(厚生労働省) 愛知労働局】 国家公務員	57
情報収集はしっかりと！		
K. N 【(法務省) 津地方法務局】 国家公務員	58

仲間と共に高め合おう	I. A【愛知県庁】地方公務員	59
自分を信じて	S. S【愛知県庁・警察事務】地方公務員	60
自分に合った方法をさがそう	N. K【愛知県庁】地方公務員	61
とにかく欲張ること！	O. M【三重県庁】地方公務員	62
自分を信じること	H. M【三重県庁】地方公務員	64
仲間を見つける	Y. R【三重県警察】地方公務員	65

巻頭言：就職活動を始めるにあたって

1983年に創設された人文学部は、すでに36年の歴史を数えています。その間に、約9,500人の卒業生を社会へ送り出してきました。また、1992年創設の大学院人文社会科学研究科の修了生は400人を超えています。沢山の卒業生・修了生が、就職活動を経験して、その困難を乗り越えて、様々な企業や官公庁などで活躍しています。

就職活動を始めようとしている学生の皆さんは、色々な悩み・不安を抱えているかもしれませんが、とにかく前を向いて、未知の世界に挑戦することが求められています。今は、自分自身を見つめる機会でもあります。しっかりと自分と向きあって、自分がやりたい仕事、入りたい企業、さらに将来の計画など、長い目で捉えて、じっくりと考えてほしいと思います。そして、是非「肯定的に」「積極的に」「自分の長所」をアピールすることを考えて下さい。

就職活動とは相手がいる活動ですから、自分が考えていることをきちんと言葉にして相手に伝えるコミュニケーション力が求められます。また、論理的に筋を通して物事を考える力、そして仲間と協調して課題解決につなげる力も大事でしょう。こうした能力は、すでに皆さんが、大学生活の中で色々な授業やゼミ活動などを通して身につけたものであり、様々な場面で磨かれてきたはずです。就職活動においては、これまでの大学での学びと実践が確実に生きるはずだと言えます。

人文学部がこれまで蓄積してきた就職活動関連のノウハウが、皆さんの活動を支えます。問題があったら、相談したいことがあったら、是非気軽に職員にも教員にも相談してみてください。皆さんが新しい進路を切り開けるように、人文学部の教職員一同が応援しています。

2019年12月

人文学部長
大学院人文社会科学研究科長
安食和宏

就職活動を始める皆さんへ

1. はじめに

皆さんは新たな人生のステージに向けて歩みを進める時期にさしかかっています。これまでの「学生」としての生活から「社会人」として活躍する生活へ、まさに大きな転機を迎えています。現在の日本人の平均寿命は80歳を超えました。公的年金の支給開始は基本的に65歳からで、それから先の人生もかなり長いわけですが、就職後は40年以上も「勤労期間」が続きます。これから皆さんは、人生におけるこの新たなステージを迎えようとしているのです。

社会人としての生活といえば、まずは仕事をして収入を得ることを思い浮かべることでしょう。現実には人生は多様で何事も決めてかかることはできませんが、大学を卒業する皆さんは、これから始める就職活動こそ社会への入り口と考えるのが一般的でしょう。では、就職活動はどのように進めていけばよいのでしょうか。

2. 働くこととは

就職活動については、巷にいろいろな情報が溢れています。インターネットには就職情報サイトがあり、ネット上には皆さんと同じように「就活」をした人々のいろいろな情報が飛び交っていてもいます。しかし溢れる情報に身を委ねる前に、なぜ働くのか、なぜ働く必要があるのかをまずは考えてみてください。

人が働く目的の一つとして、働いて収入を得ること、つまり、経済的に自立して生活することが考えられます。アルバイトをして生活費の足しにしている人もいるでしょうが、学生の本分は学業です。学業との両立は立派ですが、労働は二義的なものに過ぎません。大学を卒業すればいよいよ経済的自立の時を迎え、自分で働いて生計を維持することになります。

では、もしお金がありさえすれば、人は働かなくても良いのでしょうか。人は社会に生まれ、社会の中で生きていかなければなりません。一人の大人として社会に参画する、社会の中で一定の役割を果たし社会発展に貢献することは、人としての義務といえます。もちろん、この場合、必ずしも企業などで働くことのみを指してはいません。金儲けを目的としない団体や家庭の中で働くこともあるでしょう。様々な形態があるにせよ、自分の営為努力によって社会貢献をすることが求められます。ですから、自らの持てる力を傾けたとしても、それが犯罪であり社会に貢献しない内容だったら、「働いている」とはいえないのです。

生計の維持や社会的役割の発揮を働く理由として挙げてきましたが、それでは働くのは義務ばかりで楽しくないと感じる人もいるかもしれません。しかし、働くことは実は喜びでもあります。自分の持てる力や特性を社会の中で表現する、そしてそれが誰かの

役に立っていると知ることは、大きな達成感をもたらすものです。働くことの重要な目的の一つは、仕事を通して自己実現していくことなのです。

社会人は勤労者であると同時に生活者でもあります。職場と同時に家庭や近隣、ボランティア団体、同好の集まりなど活動の場は多々あります。何に生き甲斐を見いだしていくかは人それぞれ異なるものだと思いますが、一人の社会構成員として、自分をどのように生かしていくことができるか日々熟考することが肝要です。仕事は40年余りの長い期間、その生活時間の多くを費やすものです。仕事を通しての自己実現は、人生にとって大切なことといえます。

3. 自分を知る

それでは、どんな仕事に就いたらよいのでしょうか。自分に向けた仕事とは何か、実はこれはなかなか答えが出せない問いでもあります。自分の資質や特性、学業から身につけた能力が生かせるような仕事をしたいと思う人が多いことでしょう。その一方で、そもそも自分はどのような人間であるか、本当によく知っているのでしょうか。

単に自分はこんな性格だというのではなく、客観的に自分はどんな人間であるかを考えなければなりません。これを「自己分析」といいますが、自己分析には様々な方法があります。手始めに、自分自身で自分の性格の長所や短所、協調性やリーダーシップなどの自己評価、どういう生活をしたいかといった生活観、大学生活から得た能力、趣味・興味・特技といったことを、具体的に列挙してみるのも良い方法です。また、それをもとに、身近な人に尋ねてみるのも、客観的な自己分析につながります。自分のことは自分が一番良く知っているとは必ずしもいえないのです。保護者や教員、ゼミやサークルの仲間、バイト先の知人など、日頃から接する機会の多い人に聞いてみると、自分では気がつかなかった特性や能力を的確な言葉で教えてくれることが間々あります。社会における自分とは、自己完結的な存在ではなく、他者との関係性の中で形作られるものですから、他人から見た自分について知ることは大切なことです。このような自己分析は、自分がどんな職業に向いているのか、あるいはどんな職業を望んでいるのか、という問題を考える基礎となるものです。

4. 仕事を選ぶ

しかし、自己分析をおこなったからといって、すぐに職業選択ができるわけではありません。それに、現実の社会は自分の望みどおりにならないことも多いものです。自分の望む仕事でも収入が極端に少なければ生活を維持できませんし、自分が就職したい企業もあなたではなく他の人を選ぶかも知れません。理想と現実が一致すれば幸せですが、理想どおりに仕事を選べるとは限らないのです。では、理想など追わず現実的な選択をすればよいのかといえば、それは望ましいものではないでしょう。現実と折り合いをつけつつ、自分が就きたいと思う職業を粘り強く探していくというのが就職活動なのです。

業種や職種などの選択と並んで、具体的な就職先は皆さんにとって大きな関心事だと思います。有名企業や世間体の良い職業は、やはり魅力のあるものです。しかし、それが自分の望む種類の仕事でなかったとすれば、その企業や業種の状況が悪化した場合、「こんな仕事は望んでいなかった」とひどく後悔するかもしれません。誰もが知っている企業でなくとも、自分にあった仕事で生計を維持できる収入が得られるのであれば、幸せな職業人であるともいえます。不確実な時代ですから、自分に向けた将来性のある仕事として選んだつもりでも、厳しい状況に立たされることもあり得ます。それでも自分の意思で選択した場合は、精神面で大きな違いがありますし、対処の仕方に違いが生じるものです。

職業を選択する際、保護者の意見というのも皆さんは考慮するかもしれません。保護者は子どもの将来をいつも案じているものですし、皆さんより社会経験も豊富ですから、できる限り安全で安定した仕事に就いてもらいたいと願い、就職活動についていろいろな意見を言われることもあるでしょう。確かに保護者はもっとも身近にいる、皆さんより社会経験のある大人ですから、先輩の大人の意見として耳を傾ける価値は大いにあります。しかし、保護者とあなたとは同じ人生観を持っているとは限りませんし、性格や能力にも違いがあるはずです。就職して10年後、20年後にどのような生き方をしたいかは、自分でなければ結論が出せないことです。自分の意思を抑えて勧められるままに就職先を決めた場合、それが将来、大きな不満となって出てこないとも限りません。自分の意思でもないのにこんな仕事に就いてしまったなどと思うことになれば、不幸しか言いようがありません。様々な意見を参考にしつつも、最終的な判断は自分で下す。自分の人生を生きるとは、そういうことなのだと思います。

就職活動とは関係なく、学生に将来どんな仕事をしたいですかと聞くことがあります。学生からの返答は、意外にバラエティが少ない印象があります。しかし、人は十人十色、それぞれ個性や特性があるように、実は社会に存在する職業も多種多様なのです。社会には自分が知らない業種や職種がたくさんあります。消費者に商品やサービスを提供する企業の名前は知っていても、たとえば企業間で取引をしている企業は馴染みが薄いものです。馴染みの薄い企業の中に、自分の就職先として望ましい企業があるかもしれません。一口に公務員といっても、公務員の仕事には皆さんの知らないような職種や職務内容もあります。まずは世の中の様々な職業を知り、幅広い中から職業選択を考えてみてください。

集団面接の時などは、積極性があって自己アピールのうまい人を羨ましく思うかもしれません。確かに面接の場でまったく自己表現ができなければ、自信喪失に陥ってしまうでしょう。しかし、必ずしも雄弁ばかりが良いとは限りません。職業によっては、地道な努力や信頼が何よりも求められる場合もあります。リーダーシップのある人材ばかりが望まれているわけではなく、堅実な補佐役も必要とされます。協調性はもちろん重視される資質でしょうが、思い切った独創性が求められている場合もあります。面接を

する人はうわべの付け焼刃はすぐにわかるといますので、自分の個性を隠して別の人格に見せようとするのはあまり得策とはいえません。むしろ自分の個性を知り、その良さを誠実に表現していくことの方が有効でしょう。就職活動を進めていく中で、自分の新たな性格や資質に気づかされることも間々あります。それは今後の人生においても有益なことです。

5. おわりに

就職活動は初めての経験ですし、不安や戸惑いを感じる人も多いことと思います。困った時には自分だけで解決しようとせず、いろいろな人に積極的に相談してみてください。人文学部内では学務担当や学生支援委員会、全学では学生総合支援センター内のキャリア支援センターが、皆さんの就職活動を支援しています。就職活動は精神的負担も大きいものです。もし精神的に悩んでしまったら、学生なんでも相談室を訪ねるのも一つの方法です。利用できるものは何でも積極的に利用して、皆さんの就職活動に役立ててください。

就職活動では、思うに任せないことも多々起こります。しかし、たとえうまくいなくても、思いつめる必要はありません。人生は就職活動だけで決定するわけではないのですから。無事に就職できたと思っても、就職後に良い職場ではなかったと気づく場合だってあります。仕事をして自分を知り、社会を知り、その結果、転職して新たな仕事を始めることは、必ずしも悪い経験ではないでしょう。一見、回り道をしたように見えても、自分に合った職業に出会えば、それはそれで素晴らしいことです。人生は効率ばかりが優先されるものではないのです。

就職活動は皆さん自身がおこなう重要な営みです。自分と向き合い社会と対面する、厳しくも有意義な活動です。皆さんが納得できる就職先と巡り合えることを心より願っています。

(人文学部学生支援委員会・委員長)

参考：大学全体・学部レベルの就職支援について

大学全体の支援体制

三重大学では、学生総合支援センターの中に設置されているキャリア支援センター(総合研究棟Ⅱ1階)が中心となり、「キャリア教育」、「インターンシップ」、および「就職支援」の推進が図られています。特に「就職支援」としては、就職ガイダンスの開催や学内企業研究会の開催、就職情報の提供や就職相談(平日10:00~17:00(昼休みを除く))などを行っています。また、キャリア支援センターが発行している『就活キャリアハン

ドブック』(就職手帳)には就職活動に必要なさまざまな情報が掲載されています。ぜひ活用して下さい。

なお、学務部就職支援チームで受け付けた求人情報および大学が実施するガイダンスの開催案内等は、三重大学就職情報ホームページに「就職情報」(学内向け)として掲載しています。

■ キャリア支援センター・就職相談・就職情報コーナー

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

三重大学学務部就職支援チーム

電話：059(231)9654、FAX：059(231)5374

Email：syusyokikaku@ab.mie-u.ac.jp

人文学部独自の取り組み

人文学部では、学生支援委員会と学務担当が人文学部学生の就職・進路相談にのるとともに、人文学部独自のガイダンスの開催や『就職活動の手引き』(本冊子)の発行などを行っています。気軽に相談に来てください(連絡先は、各教員の研究室、または学務担当まで)。

なお、人文学部棟1階学生ラウンジ隣の就職支援・相談室では、求人情報および就職関連図書を常時(9:00~17:00)閲覧することができ、入り口前には就職関連のチラシやパンフレット等を置いてありますのでご利用ください。

人文学部の就職状況

1. はじめに

人文学部(1983年創設)は、毎年有能な人材を社会の各分野へ輩出してきました。2019年3月には33期生が卒業し、多くの同窓生が社会で活躍しています。先輩たちは皆さんと同じように、希望に燃えながらも、様々な悩みを抱えつつ就職活動に取り組みました。「民間企業で働こうか、公務員になろうか」といった悩みや、「地元で就職するか、全国転勤もある企業に就職しようか」といった悩みもあったでしょう。時代の変化も激しく、必ずしも希望通りの道に就職できたものばかりではありません。求人倍率は改善しつつあるものの、近年は加速度的に社会の変化が進んでおり、現実は依然として極めて厳しいと言わざるを得ません。こうした中でも、現実をしっかりと見つめつつ、自らの進路を決定していくことが求められています。過去3年間の人文学部の就職状況を紹介、みなさんの進路選択にとって何らかの参考にしていただきたいと思います。

2. 過去三年間の人文学部の就職率の推移

2.1 就職内定者の推移

以下の表 A を見て下さい。18 年度の人文学部卒業生の就職率（就職率＝就職希望者÷就職内定者）は 99%です。全国的にみても本学部の就職率は高水準を維持しています。就職率は、03 年以降、全国の大学の公表基準に合わせ、公務員試験や教員採用試験の不合格者を就職希望者から除外し、「その他」の欄に区分して算出しています。つまり、公務員等の志望者は、合格すれば「就職内定者」扱い、不合格ならば「その他」として「就職希望者」から除外されるということになります。さらに、最終的に進路が決まらなかったために別の進路を決めた場合や、就職も進学もしない卒業生も、「その他」に含まれる場合もあります。

続いて、表 A の 18 年度の「卒業生」と「就職内定者」欄の数字を見て下さい。就職内定者数が卒業生より 29 名少ないのですが、そのうち 11 名は右の欄に示した「進学者」です。年度ごとの推移では、進学者の増減にも留意してください。

表 A：人文学部の就職状況の推移

	卒業 年度	卒業 生	就職 希望者	就職 内定者	就職 率	進学者	その他	未定者
文化学科	2016	112	91	87	96%	14	7	4
	2017	114	101	98	97%	9	4	3
	2018	114	103	102	99%	4	5	3
法律経済学科	2016	193	178	175	98%	4	11	3
	2017	181	174	172	99%	1	6	2
	2018	188	174	171	98%	7	7	3
人文学部	2016	305	269	262	97%	18	18	7
	2017	295	275	270	98%	10	10	5
	2018	302	277	273	99%	11	12	6

2.2 進学者について

次に「進学者」についてです。進学者の人数は年度によって変動していますが、毎年一定数います。これには、大学院への進学者はもちろん、留学準備や大学での研究生も含まれています。

2.3 来年度の見通し

民間企業就職については、本年度同様に、来年度についても、採用数は増えると予測

されますが、楽観視するのは禁物です。自らの進路選択にあたっては、実態をしっかり把握した上で、入念な準備と意気込みが求められると言えます。必ずしも恐れる必要はありませんが、これまでの自らの人生とは異なる大きな決断と覚悟が求められます。

3. 人文学部卒業生の就職先の状況

3.1 民間企業

民間企業就職について、次の表Bより幾つの特徴を挙げておきたいと思います。

第1に、就職先地域としては、三重県および東海地区の地元企業への就職が多い傾向があります。卒業生の就職先地域（本社所在地）をみると、県内および東海地区をあわせた割合は、16年度、17年度はそれぞれ64%、70%、18年度は68%と高い状態を維持しています。他方、就職先が関東地方となっている卒業生の割合は、16年度は25%、17年度は18%でしたが、18年度は22%と20%台に戻りました。近畿地方への就職者の割合は、ここ3年間では6%～8%となっています。

第2に、地元企業のなかでも、とくに金融機関や卸・小売りへの就職が高い割合を占めています。また製造業に就職する人も、求人数の増加を受けて、増えているようです。

表B：人文学部の就職状況

学科	卒業年度	就職者の就職先内訳				就職先					計
		企業	官公庁	教員	その他	三重県	東海地区	関東地区	近畿地区	その他	
文化学科	2016	56	22	9	0	24	33	22	4	4	87
	2017	70	21	7	0	34	38	11	9	6	98
	2018	82	17	3	0	35	36	20	7	4	102
法律経済学科	2016	124	51	0	0	43	67	44	13	8	175
	2017	127	45	0	0	35	81	38	13	5	172
	2018	119	52	0	0	40	76	39	11	5	171
人文学部	2016	180	73	9	0	67	100	66	17	12	262
	2017	197	66	7	0	69	119	49	22	11	270
	2018	201	69	3	0	75	112	59	18	9	273

そして第3に、実際の就職先企業名を見ると、就職者数が安定的に維持されているのは、毎年のように三重大学に求人を出している企業が多いことが分かります。外部の「合同企業展」などとは違い、三重大学へと実際に足を運んで採用活動をしている企業は、や

はり本学の学生を採用する意欲が強いと言えます。

以上、簡単にこの間の人文学部学生の民間企業就職の特徴を示してきましたが、具体的な民間企業の採用活動等の特徴については、後掲の「先輩からのアドバイス」を参考にしてください。

3.2 公務員

公務員就職は、厳しい状況が続いていましたが、15年度以降はその数が大きく増加しました。人文学部で公務員就職を考えている学生の多くは、県職員試験や国家一般職試験、国税専門官試験の合格を目指していると思われます。公務員試験で不合格になった学生の多くは、地元を中心とした公務労働の試験を目指すこととなりますが、決して広き門ではありません。

公務員試験は大学受験とは異なります。「ただ勉強すればいい」というものではないことは十分承知されていると思います。公務員試験でも面接等が重視されるようになり、民間企業と同じく「人物重視」の傾向が強まってきました。だからといって筆記試験の準備は疎かにしていいということではありませんが、公務労働の分野でも多くの難題を解決していける能力を持った新たな人材を期待しています。「なぜ公務員を目指すのか」、「公務労働に就くことによって自らは何がしたいのか」など、自己分析と自己PRが不十分な学生は、なかなか面接試験を突破できていません。また、人文学部には毎年、一定数の“公務員浪人”がいますが、浪人して勉強しても必ずしも合格に結びつかない卒業生も（卒業後のことですので正確には掴みきれませんが）多いようです。

公務員志望者の中には、現状を十分知らずに、いまだに「私は民間企業には向かないから」といった理由や「親が公務員になれと言っているから」といった理由で自らの進路選択を行ってきた学生がいるようです。これから就職活動を行うみなさんには、ぜひとも原点を見つめ直しいただき、公務員就職を目指す場合には、高い志を持って準備に励んでいただきたいと思います。

3.3 教員

教員関係の就職については、ここではその実数のみをお伝えします。09年度4名、10年度10名、11年度10名、12年度13名、13年度5名、14年度5名、15年度8名、16年度9名、17年度7名、18年度3名となっています。またその他に、私立学校への勤務や非常勤教員、あるいは外国語学校での日本語教師等も、それぞれ増減はありますが、年度ごとに数名ずついます。このように、教員関係の就職状況は厳しいですが、それでも明確な目標をもって教員を目指すのであれば、指導教員や教職担当の教員と相談しつつ、十分な準備をして実習や教員採用試験に臨んで下さい。

4. おわりに

これから皆さんの就職活動が本格的に始まります。変化が激しい時代だからこそ、しっかりと考え、準備をして就職活動に臨んでいただきたいと思います。大学としては、みなさんの就職活動を、学部の学生支援委員会、指導教員、および大学のキャリア支援センターなど総力をあげて支援していきたいと考えています。

悔いの残らないように、精一杯がんばりましょう。

(人文学部学生支援委員会)

先輩からのアドバイス：2019年度4年生就職活動手記

学生支援委員会のガイダンスに協力していただいた人文学部4年生からのアドバイスを掲載します。就職活動に向けての意気込みや活動対策、あるいは日々の生活のあり方など、自分の役に立つと思われることを吸収し、皆さんの活動に生かしてください。当然のことですが、手記に書かれていることはあくまでも先輩の個人的経験ですから、絶対視することなく読んでください。

「自分」と向き合う機会

S.M【(株)イビソク】建設業

○就活スケジュール

3月：合同説明会、個別説明会に参加。エントリーシート作成。早い企業だと選考開始。

4月：引き続き個別説明会に参加。二次選考(面接)を受ける。

志望度の高かった企業から内定をもらったため、就活を終了。

○就活を振り返って

・就職情報サイト、会社説明会

就職情報サイトは主にリクナビ、マイナビを使っていました。何をすればいいかわからないという人は、とりあえず就活サイトで会社を調べてみましょう。自分の興味のあるキーワードでとにかく検索してみてください。思わぬ出会いがあるかもしれません。

合同説明会にもとりあえず参加。腰が重い人も学内や県内の合同説明会には行くべきだと思います。少しでも気になったら、個別の説明会にも参加しましょう。いろいろな会社の話を社員さんたちから直接聞けるなんて、この時期ぐらいです。歳の近い社員さんと話せる機会も多いので、いろいろ聞いてみると思います。

・自己分析、面接など

私が就活において一番やってよかったと思うのは自己分析です。自己分析というと難しく聞こえるかもしれませんが、要は「これまでの自分の振り返り」です。自分が今まで何を大事にして行動してきたか、努力したことは何かなど、改めて考えてみましょう。自分がどのような人間で、自分の強みはどこなのか、わかってくると思います。

選考が早く、面接対策をしていなかったのもとても不安でしたが、素直に正直に伝えた結果、内定をいただきました。対策はするべきですが、相手に誠実に自分のことを伝えるということを忘れないでください。あくまでも「自分らしく」が大切だと思います。

私は行きたいと思った会社の選考がかなり早く、その上それまで何もしていなかったのかかなり焦りました。エントリーシートも説明会の後、慌てて書きました。自己分析や企業の下調べなど、できることは早くやるべきだったと反省しています。皆さんは焦らないよう、何事も早めに取り組んでください。

○最後に

就活を振り返ると、周りの人の存在はとても大きかったです。同じ志を持つ友人とは、情報共有は勿論、就活の悩みを言い合って共感し合うこともできました。家族には金銭面でも、精神面でも、支えてもらいました。家族や友人との息抜きを大切にしてください。

就活は、とても忙しく、大変な期間でしたが、いろいろなところに行けて、いろいろな話を聞けたので、楽しかった時間でもありました。慣れないことが多く、つらく感じることもあると思いますが、この期間だけの「非日常」を楽しみましょう。

いろいろな人の支えがあること、楽しむことを忘れずに、就活に臨んでください！皆さんの健闘を祈ります！

計画性をもって

A. S 【ダイキン工業（株）】 製造業

○スケジュール

- 2月まで 1 day インターンに参加/openES の作成/SPI 対策
- 3月 三重大で開催される合同説明会や、個別の企業説明会に参加/
企業ごとに ES を作成・提出/web テストや筆記試験
- 4月 ES の作成と並行してグループディスカッションや面接
- 5月 内々定（5月上旬）、内々定後の職場見学ののち進路決定（5月下旬）

○就職活動対策

① 就職情報サイト

主にリクナビを使っていました。リクナビに掲載がない企業にエントリーしたい場合のみマイナビを使いました。この2つで十分だと感じたし、2つなので情報管理が楽でした。就職活動が本格化する前に就職情報サイトでいろいろな企業を検索して、サイトの使い方に慣れたり、会社選びで外せない条件をまとめておくといいと思います。

② ES

2月までに「自己PR」と「学生時代頑張ったこと」を400字でまとめていたので、3月以降はそれらを活用して指定文字数に合わせるだけだったので楽でした。

ESは提出前にすべてデータを保存しておく、面接対策がしやすいです。

お仕事広場みえに登録し、3月初めに1度openESの添削をしてもらいました。

③ 面接

3月中旬から、お仕事広場みえで面接指導をしてもらいました。

私が受けた企業は、学生時代のエピソードなど人物把握をメインとしたフランクな面接が多かったです。面接で話せそうな自分の体験は、きちんと言葉にしてまとめて用意しておくといろいろな質問に応用できると感じました。

○就職活動を振り返って

インターンや業界研究をする中で興味を持った数社以外は、3月にある三重大の合同説明会に来ていた企業を中心に受けました。三重大 OB の方から就活のアドバイスも頂けたので、4日間毎日参加してよかったと感じています。

説明会、選考、合否連絡が3月末から4月にかけて一気に来るので、スケジュール管理が大切です。私は愛知と大阪で並行して就活を進めていたので、毎日のように名古屋と大阪を行き来したりと忙しかったですが、妥協せず自分で動いて就活してよかったと思います。

就活では自信満々の強気の自分であること

S.N【ソニーグローバルマニファクチャリング&オペレーションズ（株）】製造業

1. 合同説明会

3月1日に就活の解禁となり、大手企業の企業説明会の予約が始まりますが、3月1日になる12時に就活生が一斉にサイトにアクセスするためサーバーが落ちて予約できなかったのですが、早朝にサイトを見るとすんなりと予約できたので、3月1日は12時まで起きておくのではなくて、早く寝て早く起き予約するようにしたほうが良いと思います。

合同説明会は、学内説明会合わせて3つほど参加しましたが、今思えば学内説明会だけでも良かったかもしれないと思います。学内説明会に参加している企業は大学が選別しているので質も良く、タームも固定されているので、ブースが混んでいたら次のタームに回して、ブースが空いている違う企業の説明を聞くなどして、無駄な待ち時間が発生しないと思います。

2. エントリーシート、面接対策

就活生だったとき大変だったのがエントリーシートです。企業の大半は、エントリーシートの締め切りが3月中旬から末に集中し、企業毎にじっくり考えて書くには時間が足りません。そこで、自己PRなどのよく設問に上がっているものは文章にできる程度まで考えておいたほうが良いと思います。また、多数の企業にエントリーシートを提出すると、何を書いたのかなど忘れてしまうので、ノートなどを用意して、企業ごとに設問と自分の回答を箇条書きでいいので書いておくことをお勧めします。これをしておくと、面接の前に読み返すこともできます。

面接対策としては、新卒ハローワークで行っている模擬面接を2回ほど受けました。その際に、入室の方法やカバンの持ち方、礼の仕方など細かく教えてもらえたり、自分がおもっているよりも面接において会話のキャッチボールをすることがいかに難しいかなどたくさんの改善点が見つけられると思うので、ぶっつけ本番で行くよりは、そういったものを1度利用しておく、本番テンパってしまうことが少ないと思います。面接は、質よりもまず数をこなして慣れるしかうまく乗り切る方法がないので、必ず模擬面接はしたほうが良いです。

3. アドバイス

面接で落ち続けて、自分に価値がない人間かと思ったり、ここまで大切に育ててくれた親にとっても申し訳なくなったりしました。でも、とにかく自信がなくても、自信満々の強気な自分を装って面接に挑んだほうがいいです。企業は、学生のスキル、経験などを見ているのではなく、態度や表情、声の裏に見える自信ややる気を見ていると思います。

フットワーク良く挑戦しよう！

S.M【(株)オービックオフィスオートメーション】情報通信業

こんにちは。就職活動を控え不安な時期だと思いますが、「一年前の自分に伝えたいこと」という視点から皆さんにアドバイスを送りたいと思います。私も紆余曲折ありましたが、最終的には「その会社で活躍する自分に最も期待できる会社」から内定をいただくことができました。私のアドバイスが、少しでも皆さんのお力になれば幸いです。

就職活動の流れ

就職活動を始めたのは遅めの2月で、大半の企業は3月1日からESを公開するため、それに間に合うように志望業界の決定と自己分析を始めました。3月からはES作成と並行して4月頃ピークを迎える面接に向けた練習を開始しました。5月、第一志望が人気の業界だったこともあり持ち駒がほぼゼロになってしまったため、第二志望だった業界を受け始め、6月中旬に内定先が決定しました。

アドバイス

① 将来どんな人間でありたいかを考える

会社は今後の生活を大きく左右します。どんな仕事がしたいのか・どんな社会貢献がしたいのか・どんな環境で働きたいのか・どんな生活リズムが理想なのか・どれくらい稼ぎたいのか・どこに住みたいのか。内定をもらうことを「ゴール」にするのではなく、自分の将来を叶える「手段」として会社を選んでほしいと思います。

② 「面接での自分」を知る

模擬面接の一番の利益は、面接という場において、自分は無意識にどういう人間になっているのかを知れることです。思っていたよりも言葉に詰まるかもしれないし、思っていたよりもはっきり主張できるタイプかもしれません。まずは面接での自分を知るために、フットワークを軽くして模擬面接を受けてみてください。こうして何度も練習していくとイキイキ話せている本来の自分を発見するので、そのときの自分を「演じる」くらいのつもりで本番の面接で発揮してほしいです！

③ 就職活動一本の生活にしない

私が一番反省しているのが、就職活動に専念するために「サークル・アルバイト・趣味」を

自分の中で禁止してしまい、自分を追い込んでしまったことです。頑張り時だからといってそれ以外のことを一切しないと、心のバランスを崩して前向きな自分を発揮できなくなりま
す。「息抜きさえも必要な時間」と捉えて、上手く切り替えながら就職活動をしましょう。

就職活動は進め方も経験することも本当に人それぞれ違います。それゆえにアドバイスも様々に存在しますし、今回のアドバイスもそのうちの一つです。息抜きを利用して心のバ
ランスを保ちながら、フットワーク良くチャレンジし、自分なりの突破のコツを掴んでいっ
てほしいなと思います。応援しています！

一番を目指すつもりで丁度いい

N. R 【(株) 日本経済新聞社】情報通信業

マスコミの試験は少し独特です。新聞社の試験は、手書きの ES に始まり、SPI (英語含
む)、時事問題筆記試験、複数回の面接があります。また、新聞はそれぞれ内容が違うため
読み比べは必須です。模擬取材試験がある会社もあります。地方からマスコミを受けるのは、
情報量的にも、精神的にも体力的にも金銭的にもきついかと思いますが、不可能ではありま
せん。やると決めたら、やりきりましょう。

就職情報サイト

マイナビ・リクナビ・マスナビ・外資就活・就活会議・one career・みんしゅう・openwork
マス読メルマガ

試験対策

- ・ ニュースを知る、各社の論調の違いを知る (全ての新聞紙の読み比べ)
- ・ 時事問題演習 (朝日キーワード・日経キーワード・ニュース検定参考書等)
- ・ ニュースに関する知識を深める (創・新聞ダイジェストの購読)
- ・ 作文・論文対策
- ・ 漢字問題対策
- ・ 模擬取材対策
- ・ SPI 対策

面接対策

面接は、ES の段階から始まっています。面接官は、あなたをジャッジする神ではなく、同
じ人間です。もし、あなたが誇りを持ってとある会社で働いていたとします。何をどんな風
に伝えられたら、更に相手の話を聞こうという気持ちになるでしょうか。一日中面接をする
のはおそらく骨の折れる仕事でしょう。自分が判断される、ではなく、どうすれば面接官が
退屈しない有意義な会話ができるかを考えて、ES を書きましょう。同じエピソードでも、焦
点の当て方を研究しましょう。相手の気持ちになって客観的に自分を見ることが大切です。

企業研究

自己分析を生真面目にやりすぎることはお勧めしません。あなたがどんな人間なのかということと、仕事をするということを重ね合わせるかは、あなた次第です。企業にとってより大切なのは、企業の活動やビジョンについて理解できているかということと、あなたがどう役に立てるかということだと思います。それらを発見したら、どのような角度から質問されても良いように、根拠を沢山書き出しておきましょう。

就活のポイント

隣の人と同じことをやって安心しては落ちます。就職活動は「個人戦」です。仮に採用人数が一人なら、何を準備するかを自分で考えて、できることは全てやりましょう。

アドバイス

東京に泊まりこんで就活をするにあたり、無駄なストレスは避けるべきです。カプセルホテルなどを選ぶときには、勉強・仕事スペースがあるホテルを選ぶことをおすすめします。連泊で予約をし、予定が終わった後に次の日の準備ができるよう、拠点となる場所を確保しておくと思います。

笑顔とコミュニケーション能力の強化を

I.S【(株)日通・パナソニックロジスティクス】運輸業

〈就活スケジュール〉

- 8月 業界研究・インターンシップ1社 (3days: 商社)
- 9月～ SPI/Web テスト対策・自己分析・業界/企業研究
- 2月 インターンシップ2社 (ともに1day: 運輸業)・ES作成・GD対策
- 3月 合同/個別企業説明会・ES作成
- 4月～ 面接・ES作成
- 5月末 就活終了

〈就職活動を振り返っての成功〉

・早い段階からこつこつと勉強を始めたこと

→3年生の夏休み頃からSPIやWeb対策を行っていたため、筆記試験に関して不安になることはあまりなかったです。SPIの本や一般常識の本など、書籍サイズのものを購入して通学中の電車や空き時間にこまめに見るようにしていました。業種によっては資格が有利なることもあるので、調べておくといいと思います。

・いろいろな人に話しかけること

→就活ではほとんど1人行動。さらに、就活をするにつれて友達と会う機会が少なくなる一方で、説明会や面接で知らない人たちと会う機会は増えていき精神的に疲れてしまう…これが就活を始めた頃の私にとっていちばんのストレスでした。しかし、説明会や面接の場で同じになる就活生は自分と同じ志向の人がほとんどだったので、参考までに隣の人や同

じグループの人には積極的に話しかけて周りの状況把握や情報収集を行っていました。

・笑顔でいること

→アルバイト先がスマイルを大事にしていることもあり、私の場合は笑顔を作ることはあまり大変だと思うことはありませんでしたが、緊張している場面での笑顔は案外難しいのでないかと思います。ですが、就活における『笑顔』は相手にとっても自分自身にも大切です。説明会・面接・OB/OG 訪問など就活出会う方々は初対面の人ばかりであるため、「第一印象をどれだけよく見せることができるか」がキーポイントになってくると思います。また、自然な笑顔は表情をやわらかく見せてくれることに加えて、緊張の場面でのリラックス効果もあると私は感じました。

〈最後に〉

就職活動は振り返るとあっという間でしたが、改めて自分を知る良い機会でした。その中で大変なことも失敗したと思うこともたくさんありましたが、貴重な経験ができたのかなと感じています。みなさんの就職活動が、自分なりのやり方で成功することを祈っています。頑張ってください！！

就活は不安にならなくて大丈夫

S.S【中部国際空港旅客サービス（株）】運輸業

○自己分析・ES

自己分析とESの対策はキャリア支援センターで本を借りて行っていました。自己分析は自分でじっくりと考えることも必要ですが、ぜひ友達とも一緒にやってみてください。特に、長所・短所を考えるときは自分でも気付かないことを指摘してくれたりします。ESは、結論→動機→困難→取り組みと結果→人柄→気付き・学びという流れで書くことを意識していました。全てがこれに当てはまる訳ではありませんが、限られた文字数で書かないといけないので、これがまとまりやすい流れかなと思います。

○面接

面接は何か対策をしたというよりは、気持ちを大切にしていました。部屋に入った初めの印象が一番大きいと思うので、笑顔と元気、ハキハキ話すことは常に意識していました。面接前にはトイレの鏡の前で笑って、そこから面接に臨むという自分なりのルールをつくったりもしました。不安を感じる人も多いと思いますが、自分をアピールできる場なので、自意識過剰になるくらい自信を持って臨んでほしいと思います。ただ、話す内容がぶれてしまうのは良くないので、事前に提出したESの内容を振り返るなどして、軸をしっかり持ってください。

○就活を振り返って

私が就活で大切にしていたことはとにかく前向きでいることです。適度に息抜きの時間を入れて友達と遊んで、気持ちの切り替えをするようにしていました。また、航空業界を多

く受けていたので、説明会や面接で空港に行くことが多くあり、そのときはいつもスカイデッキで飛行機を見ながらお弁当を食べて、モチベーションを上げていました。些細なことでも良いので楽しくなるような自分なりの決まりをぜひつくってみてください。

私は3月までサークル活動に力を入れていたので、解禁前で就活に向けて充てていた時間は周りとは比べると少なかったと思います。インターンシップも一度も参加していません。もちろん、選考に繋がる場合や興味のあるものがあればぜひ参加してください。ただ、1つメッセージとして、周りのインターンシップへの参加率が高くなる中自分が参加できなくても決して不安になる必要はないと思います。周りとは就活の進み具合が違うのは当たり前です。自分のペースで取り組んでほしいと思います。

不安を軽減させる要素として早めの選考への対策ももちろん大切ですが、最終的には気持ちだと就活を通して感じました。初めは不安を感じるかもしれませんが、ぜひ自分の将来のなりたい姿を想像して、前向きに気持ちを強く持って頑張ってください。

自分に合う企業を見つけるために

E. R 【(株)良品計画】小売業

1. 就活・採用試験のスケジュールまたは進路決定までの流れ

会社によって時期は異なりますが、三月からエントリーが始まり、ESの提出やWEB試験のちに面接が繰り返し行われ5月、6月に内々定が決まるというものでした。

2. 情報収集、企業分析

私は、志望している企業や業界が文具や日用品を扱う企業と決まっていたのですが、自分に合う企業がどのようなものか分からず、気になったものは調べるようにしていました。調べる媒体としては、マイナビ、リクナビ、就活会議を使用していました。特に、就活会議は実際に働いている又は働いていた方の生の声が閲覧する事が出来るのでお勧めです。

また、気になった企業はすべて合同説明会やISに参加していました。文字で見る情報も有益ですが、実際に働いている方々や雰囲気を見て得る情報も大切だと感じたからです。ISに関しては、気になる企業があったら必ず行くべきだと思います。社員の方だけでなく、内定者の方も参加していることもあるので不安に感じていることを質問したりやこれからの選考について先輩の体験を聞くことが出来るかもしれません。さらに、ISに参加するまでに、参加動機やPR動画、面接が用意されている企業もあります。これらの経験は、3月から必ず役に立ちます。

3. 試験対策、面接対策、自己分析、自己PR、エントリーシート

試験対策は、企業が行っている試験形式を調べ、試験対策の書籍などを買い行っていました。私は試験対策を1月くらいに始めましたが、早くに始めなかったことをとても後悔しています。実際の試験は時間の制限もあるので、焦りが出てきます。もっと早く対策をし、その形式に慣れておくことが大切だと思います。ISで先輩にいつ始めたなら伺ったら、

8月とおっしゃっていました。早くに始めて悪いことはないと思います。

面接対策、自己PR、エントリーシートはすべて自己分析に懸かっていると思います。面接では緊張してしまい、練習の成果をうまく発揮できない人が多いと思います。私もその一人で、初めての面接で考えていた回答が上手く答えられず後悔しました。そのため、次の面接からは回答を用意することをやめました。さらに自己分析を行い、自分のことを上手に説明できるように努力しました。そうすると急な質問でも自分の言葉で伝えることが出来るようになりました。自己分析の方法は、高校時代の部活や大学時代のサークルやバイトにどのように携わっていたか、どのような役割を行っていたかを主に考えました。成功だけでなく、失敗から自分の改善点・成長した点を発見しました。

4. 就職活動を振り返ってアドバイス

いざ就職活動となると、漠然と不安が襲ってくると思います。しかし、自己PRに何を書いたから正解というのはなくて、自分らしさが伝わればいいと思います。ある企業の社員の方が面接を告白と例えていました。「ただ外見が好きだと言っても響かないように、一方的に企業の社名や売り上げだけでは何も伝わらない。企業の中身の部分でどのような所が魅力的に感じたのか。また、自分にどのような武器があってどのように貢献できるか（どのような関係性をつくれるのか）が大切」とおっしゃっていました。就職活動だからと硬くならず、自由に真剣に向き合うことが出来れば大丈夫だと思います。

自分らしさを忘れずに

A. R 【(株) 三重銀行】金融業

〈合同企業説明会・業界研究・企業分析〉

最初は分からないことばかりで、「一体就職活動って何をすればいいんだろう？」という状態でした。だからこそとりあえず行動しようと思い、私は2月に積極的に合同企業説明会に参加しました。幅広く様々な業界のブースを回っていたため、どの業界や企業が自分に合っているか、合わないかということがはっきり分かりました。自分の志望する業界に確信を持つことができ、業界研究、企業分析も自然とできるため、視野を広げて多くの企業を回ることをおすすめします。

〈自己分析、エントリーシート〉

自己分析は、キャリアセンターで借りた参考書を基に進めたり、部活やサークルでもらった寄せ書きや友達からの手紙などで自分の性格や強み、弱みを分析していました。また、自己分析を友達と一緒にやると、過去の出来事を細かく振り返ったりするので思い出話をしたり、その場でお互いに他己分析をし合ったりと、楽しく捗るので一石二鳥です。

エントリーシートで一番気を付けたことは、文章の分かりやすさと、全く知らない人が読んで自分がどのような人間か想像できるかどうかの二点です。構成などは本を参考にして、めげずに何度も何度も自分のESを読み直し、書き直すことが大切だと思います。

〈面接対策〉

笑顔で臨むことを一番に心がけていました。私は緊張すると失敗してしまうタイプなので、笑顔でいることでリラックスでき、素の自分で受け答えができた気がします。また、あまり“面接”と思わず、“今から偉い人とお喋りしに行く”と自分に言い聞かせて、面接時には会話を楽しむような気持ちで自然体の自分を見てもらえるようにしていました。初めの頃の着飾った自分で挑んだ面接よりも、素直に自然な自分で楽しく挑んだ面接の方が手応えを感じました。

〈伝えたいこと〉

就職活動中は周りと比べると不安が大きくなってしましますが、“自分は自分”という気持ちを忘れずに最後まで頑張ってください。そして頑張りすぎも良くないので、美味しい物を食べたり、友達と会ってたくさん笑ったりして上手に息抜きしつつ頑張ってもらいたいと思います。自分に合う方法で自分らしく就職活動を進めていけば必ず自分にぴったりの企業にご縁があります。皆さんの就職活動が納得のいくものになるよう陰ながら応援しています。

自分の軸をしっかり持つ

G. H 【東京海上日動火災保険（株）】 保険業

私が就職活動を本格的に始めたのは3年生の2月頃でした。今思えば、もっと早く活動を始めて自分自身についてきちんと考える時間をもつべきだったなと思います。こう考える理由は、面接やインターンが始まってから、行きたい企業の理念と自分の軸をすり合わせたり、エントリーシートを書いたり、スケジュール調節をしたり、本当にやる事が多く自分に向き合っていく時間をつくる事が大変だったからです。「自分に向き合う」とは何かと思われた方もいると思いますが、この作業は本当に大切だなと感じます。自分の得意不得意、こういう時にやりがいや達成感が感じられる、将来自分はどうありたいのかなど、自分自身のことをしっかり考えないと、自分と合っていない業界や職種となってしまいます。内定をもらっても本当にここでよかったのか、いざ入社しても何だか違う気がする、などせっかく頑張って就職活動をやってきたのがもったいない事態に陥ってしまいます。こうならないためにも、自己分析を怠らず、自分の軸をきちんともって就職活動をやっているほしいなと思います。その軸はすぐに決めてしまうのではなく、じっくり考え、取捨選択をしてください。そのためにゆっくり考える時間が必要なのです。本格的に面接などが始まると、本当に時間が足りず、体力的にも精神的にも辛くなってしまうため、今から始めることをおすすめします。

就職活動を本格的に始める前について書きましたが、次は就職活動中のことについて書いていきたいなと思います。面接対策やエントリーシートなどは先生や友達、本などにたくさんアドバイスが書かれていると思います。これについては周りの人や物をたくさん頼ってほしいなと思います。私は主に一人で就活をやっている本当にこれでいいのか不安でした。不安に思っている時間をもったいないので、たくさん相談してほしいです。それ

を聞いて自分がやっていく中で、自分に合ったものを取り入れていくといいと思います。なので私は、メンタル的なことについて言いたいなと思います。就活中は自分に自信がなくなることが多いです。エントリーシートを出したすべての企業に内定をもらえる、なんてことはめったにないことだと思います。そのため、どの段階にしても落とされることはあります。一日に3社からお祈りされることもありました。その度自信を失い同時にやる気も失っていきます。けれど、最終的に自分が入る会社は一つだけです。だから落とされるのは当たり前。そんな気持ちをずっと持っていてほしいです。絶対に自分に合った、自分を必要としてくれる会社はあります。そこに出会う時期というのは人それぞれなので周りとは比べず、軸を見失わず、楽な気持ちで就職活動をやってほしいなと思います。

いろいろ書きましたが、多くの企業に出会えるのはこの時期だけなので、就職活動はたくさん迷って、自分自身の目と耳と足を使って、楽しくやってほしいなと思います。

合同説明会には多くの参加を

N.M【(株)三井住友海上火災保険】保険業

1. 就活のスケジュールまたは進路決定までの流れ

9月 インターン (1社)

10月・11月・12月 学内・学外の合同企業説明会 (5回程度) / 自己分析・SPI 対策

1・2月 冬季インターン参加 (5回) / 合同企業説明会/企業分析

3月 インターン参加企業の選考開始/企業別の説明会/面接対策/エントリーシート記入

4月・5月上旬 2社から内定/春季インターンの面接参加/企業別の説明会

5月下旬~6月下旬 教育実習 (この間は就活は一切できませんでした)

7月 夏採用にエントリー ⇒ 8月 内定 (進路決定)

2. 就職情報サイト、合同説明会

合同企業説明会には、学内・学外ともになるべく参加するようにしました。効率的な情報収集が出来るだけでなく、人事の方の対応やどのように説明会の時間に対応して下さるかで企業のカラーがとてもよくわかり、様々な企業があるため比較もしやすいかと思います。特に、三重大学は国公立のため、学外のものでも国公立限定説明会に参加できるのが大きな利点です。国公立限定の説明会は普通の合同説明会より人が少ないため、自分の聞きたい質問を人事の方に自由にできたりするのでお勧めです。私は国公立限定の説明会に参加し、そこで人事の方に顔や名前を覚えていただいたことが内定への大きな一歩だったのではないか、と今就活を振り返って思います。

3. 試験対策、面接対策、自己分析、自己PR、エントリーシート

自己分析は個人的に最も重要かつ早めの内から取り組むべきだと考えています。自分の適性が分からず会社に入り、会社の性質と合わずすぐに辞めてしまうことになっては勿体ないと思うので、よく言われることですがまずは自らの適性を知り、適性に合った会社選び

をするのが重要なのではないかと感じます。面接対策は、その自己分析に付随して行うのが良いかと思います。自己分析がしっかりできていれば、自ずと面接で話す内容が決まってくるので、友人などに分析してもらったりなど、周りとの協力しながら自己分析をしていくといいかと思っています。

4. 就職活動を振り返って、アドバイス、就活のポイント

普通の就活生は違い教育実習が5月末から6月下旬にわたって4週間あり、受けたい企業を受けたい時期に思うように受けられない後悔が残ったことから、早めに進路を決めることの重要性を身をもって体感しました。私のような人は珍しいですが、就職活動のみ行っている方でも同じことが言えるかと思っています。早めに行動して損をするということはないかと思うので、後悔のないように就職活動を頑張ってください。さらに冬のインターンでプレゼンに失敗してしまったことがあり、その企業の内定がもらえないのではないかと不安がありました。しかし、今考えると失敗を引きずっていたのはとても勿体なかったと感じます。実際、その企業から内定もいただけたので、気持ちの切り替えができるかというのは就活において大事なのではないかと考えています。

自分に負けない強さを持って

T. Y 【岐阜県立中学校国語教員】教育、学習支援業

1. 試験スケジュール

- 3年次 11月：参考書や教育学部にて開催されるDVD講座を利用して、筆記試験の勉強を始める。(3年次12月～4年次5月にかけて校内模試を受験)
- 4年次 5月：岐阜県教員採用試験の願書提出
- 6月：教育実習(5/28～6/22、出身中学校にて4週間)
教育実習終了後から、筆記試験の勉強と並行して、面接練習(教育学部にて開催)を始める。
- 7月：岐阜県教員採用試験の一次試験(21日)
一次試験終了後から、教育学部にて開催される二次試験の対策(面接、論作文、模擬授業等)を始める。
- 8月：一次試験合格発表(2日)、二次試験(20-21日)
- 10月：二次試験合格発表(2日)

2. 試験対策

私は最初、どのように勉強すれば良いかが分からなかったため、その年に同じく教員採用試験を受験された先輩に相談をしました。その先輩からは「まず過去問の分析をする」とのアドバイスを受け、すぐに受験自治体の過去問を購入し、試験の形式を確認したり出題傾向の分析を行ったりしました。また、岐阜県教員採用試験のホームページを見て、試験の配点割合等の確認もしました。教職教養は範囲が広いですが、頻出分野を把握しておくことで、どの分野を重点的に勉強すれば良いのかが分かり、的を絞って効率よく試験の勉強が進め

られました。勉強方法は自分に合ったやり方で良いですが、私は受験自治体の過去問を解き、間違えた分野を参考書で確認するという方法で勉強しました。また、教職教養と専門科目の過去問は3回ほど解き直しました。(岐阜県は一般教養の試験がありませんでした。)

面接や論作文等の対策は一人で行うのが難しいため、教育学部で開催される対策に参加しました。集団面接や個人面接、論作文や模擬授業まで対策させてもらえるので活用すると良いと思います。個人でできる対策としては、受験自治体の教育振興計画を調べたり教育課題を把握したりすることや、面接ノートを作ることができると思います。

人文学部では試験前の5、6月に教育実習が行われることが多く、その間は試験勉強をする時間も限られるので、ぜひ早めの対策を行ってください。

3. 最後に

私は編入生かつ教職の単位がゼロからのスタートだったので、4年次も授業はまだまだ残っていました。精神的に辛くなったときには、とにかく周りは気にせず、弱い自分に負けないということを意識していました。試験の日程上、既に進路が決定した方が出てきて、不安になったり焦ったりするかもしれませんが、周りは気にせず自分のペースで対策に励んでください。自分に負けない強さを持って最後まで戦ってください、応援しています。

視野を広げて、周りも頼って

K. K【愛知県信用農業協同組合連合会】複合サービス業

◎就活のスケジュールや流れ

- 8月 夏季インターンシップに参加(3 days 2社、1 day 1社)
- 10月 SPIの問題集を解き始める
- 12月 自己PR作成、模擬面接やグループディスカッション対策を始める
- 2月 冬季インターンシップに参加(1 day 5社)、合同説明会へ参加(3回)
- 3月 学内合同説明会へ参加、その後会社説明会ラッシュ、早いところで一次面接
- 4月 ES締め切りラッシュ、一次面接、早いところで最終面接、内々定を出して下さる企業も
- 5月 一次面接、二次面接、最終面接
同月下旬、志望企業より内々定を頂き、就活を終える

◎視野を広げて

私は、あえて業界を絞らずに就職活動をしていました。理由は、自分に何が向いているか分からなかったし、決めつけてしまうのが怖かったからです。実際、同じ業界でも企業によって雰囲気は違うものです。また、業界が違っても、企業の雰囲気が似ている場合もありました。そのなかで、自分が「ここで一緒に働きたい」と思える企業を見つけていけばいいと思います。やりたいことが明確ではない方は、無理に絞る必要はないと思います。

合同説明会でも、色々な企業のお話を聞きに行くべきだと思います。合同説明会は、いろ

んな場所で何度も開催されますが、説明される内容はほとんど同じものでした。また、同じ企業へ何度も出向き、顔を覚えてもらうことが効果的だと思うかもしれませんが、いくら顔を覚えてもらったとしても、その企業に合わない判断されれば、選考は進めません。大切なのは、どれだけ自分に合った企業を探し出せるかだと、私は思います。そのためにも、幅広い視野を持って就活を頑張ってください。

◎面接について

面接で大切なのは、第一印象、笑顔、自分らしさだと思います。しかし、緊張で顔がこわばってしまうことがあると思います。私が実際に行っていた対処法としては、飼っている猫の顔を、面接室に入る直前に思い浮かべることです。猫でなくても、自分の好きなものを思い浮かべると表情が和らぎ、良い第一印象に繋がります。ぜひ試してみてください。

◎不安になったら、周りを頼って

就活生になると、いつから何を始めればよいのかが分からず、漠然とした不安を抱えてしまうことがあると思います。そんな時は、キャリアセンターやお仕事広場みえなどを活用してみてください。特に自己PRなどは、自分だけでは分からない面もたくさんあると思うので、就活のプロに引き出してもらうのも1つの手です。その他、面接やGDの練習もしてください。私とはとても助けられました。

自分が何を仕事にしたいか

I. K 【独立行政法人日本芸術文化振興会】生活関連サービス業

1. 就活スケジュール

私は当初、公務員を志望していたので3年生の6月から生協の公務員講座を受講していました。公務員以外は受けなつもりでしたが、官公庁の説明会に行く内に、自分のやりたいことは民間企業でも出来るのではないかと思い1月頃から公務員と民間企業を両立することを決めました。ですが、民間企業対策は行っていなかったためキャリア支援センターやおしごと広場の方々に相談しつつ、業界研究や自己分析をやり直しました。

4月から公務員の1次試験と民間の面接を受けました。4~7月は民間企業の面接と公務員の筆記試験をどちらも受けていたため、公務員でも民間でも受けるところを絞るように心がけていました。日本芸術文化振興会は、県庁と試験日が被ったためどちらを受けるか迷ったのですが、自分が仕事をするイメージが出来たのが日本芸術文化振興会だったので、受けることを決めました。6月から試験が始まり8月に内定を頂き、就職活動を終了しました。

2. 試験対策

・筆記試験対策

民間はSPI対策を行っていませんでしたが、公務員講座で対策した数的処理が役に立ち

ました。SPI の形に慣れるために本を 1 冊買い、苦手な分野を対策しました。公務員は教養科目、専門科目もどちらも講座を取っていましたが、受けたところが教養科目だけで受けられたためそちらだけに絞り、対策をしました。

・面接、グループディスカッション対策

面接は公務員は公務員講座の面接講座、民間はキャリア支援センターを利用して対策しました。また、日本芸術文化振興会の最終面接は伝統芸能に詳しい教授にご指導を頂きました。いろんな人から見てもらうことが大切だと思います。

グループディスカッション対策はゼミの活動が役に立ちました。1 つのテーマを皆で話し合う作業を通して、どのようにしたら様々な意見をまとめられるか考える癖が身についたと思います。

3. 就職活動を振り返って

私が就職活動で大切にしていたのは自分が企業や官公庁で働くイメージが出来るかです。公務員と民間どちらも幅広く見ていたため、どちらも何もかも受けるというのはスケジュール的にも体力的にも不可能でした。気になった段階で、よくその企業や官公庁のことを調べて説明会に行くか決め、説明会で自分が働くイメージが出来るかを受けるかどうかの判断材料にしていました。

公務員志望で民間も迷っている人は、自分の判断材料を明確にしてから両立することをおすすめします。就職活動は大変ですが、無理せず体調に気をつけて、悔いのない就職活動をしてほしいなと思います。

できることを丁寧にこなす

K. M 【(農林水産省) 林野庁中部森林管理局】 国家公務員

就職活動スケジュール

一次の筆記試験は国家総合職の 4 月下旬を筆頭に、6 月後半までは立て続けに行われます。その後に随時二次試験が行われて行きます。今年は、国家一般職の日程が大幅に変わりました。一次試験結果発表の日の説明会や、二次試験前の官庁訪問が行われました。来年も変わるかもしれません。人事院や、志望先のホームページなどを随時チェックすることが大切だと思います。

筆記試験対策

生協の公務員講座を受講していました。ですが、10 月まで部活動を行っていた関係で、それまで勉強は全くしていませんでした。そのため、他の受講生に比べて大幅に後れを取っていました。ほとんどの講座を DVD で見ました。その状況で私は、問題集を中心に使用する教材を限定し、繰り返し解くことで、短時間で多くの知識を入れられるように勉強しました。ただ、やはり講座を聞いていない部分は頭に入りづらいと身をもって感じたので、講座に出ることを強くお勧めします。

面接・討論対策

面接をいくつか受けた中で一番見られていると感じた点は、明るくはきはきと喋れているかだと感じました。緊張してしまうのは当然ですが、それは面接官も分かっているので、目を見て話す、相手が聞き取りやすいように話すなど、一つのコミュニケーションの機会として対応できたらいいと思います。

志望動機については積極的にいろいろな職場の説明会に参加し、働いている方のお話を聞くのが一番だと思います。仕事への理解もそうですが、実際にそこで働いた時のことを想像できれば、書きやすくなると思います。

就職活動を振り返って

部活動が忙しかった為、年末ごろの模試では常に最下位辺りをさまよっていて、かなり焦っていました。おそらくいろいろな理由で就活を始めるのが遅くなる人もいると思います。焦ってしまうのは仕方ありません。それでも、希望を叶えるために自分に今何ができて、何が足りないのかを考え、残り時間と相談しながらやるべきことを取捨選択することが重要だと思います。欲張りすぎずやると決めたことを丁寧にこなしていくのがいいと思います。

諦めないで最後まで向き合うことが大切！！

I.T【三重県庁】地方公務員

◎スケジュール

公務員試験全体は4月の終わりから始まり、市役所のC日程までだと12月初めごろまでかかります。私の場合は5月の中旬の三重県警の試験を受けた後、6月中旬から国家一般、三重県庁、大学事務などを受験しました。そうして7月初旬に一次試験ラッシュが終わると、2次試験のため面接の準備をしたり、説明会という名の選考に行ったりしながら、2次試験にも赴く…という調子で、7、8月が過ぎていき、9月の最初に内々定を頂き、長い戦いを終えました…。

◎筆記対策

私は3年生の6月から、生協の公務員講座を受講していましたが、はっきり言ってかなり不真面目な学生でした。授業にはほぼ全て出席をしましたが、復習が間に合わなくて、それなのにスイッチが入るのも遅くて、直前期に毎日10時間必死に勉強しなければ…という状況に追い込まれてしまいました！皆さんはどうか、落ち着いて勉強できる時からゆっくり自分のペースで進めていってください。そして今諦めかけている人、諦めるのはまだ早いです！思い立ったが吉日、今日から、自分のできることから始めてください！保証はできないけれど、諦めないで走りぬいた経験は、必ず自分の人生の糧になると思います。私は毎朝数的処理の問題を少し解くことから始めました。どうか頑張ってください！！

◎2次対策

論文、面接は講座の先生に見てもらいながら、秋ごろから対策を始めました。具体的には論文やカードの添削、個別面接練習、集団討論練習をしてもらっていました。また説明会にもたくさん行きました。正直、筆記対策が間に合っていないのに…と焦るときもありましたが、贅沢にも私は「良い方たちに囲まれて仕事がしたい！！」ということのを就活の軸としていたため、毎回の説明会でたくさんお話を伺うことで、職場の皆さんの雰囲気を体験させて頂いていました。今になって思うと、やはり実際に赴いて話を伺いに行ったことで分かることがたくさんあったので、よかったなと思えました。直前期は講座の他におしごと広場などでも2次対策を見てもらうことができ、とても助かりました。

◎アドバイス

とても長くてつらい道になるかもしれません。つらいときは周りを頼ってください！！きっとみんな味方になってくれます。あと、遊ぶときは思いっきり遊んで発散してください！！自分と向き合い、一歩ずつ進んでいって下さい。皆さんが諦めず走りぬいた先に、自分なりの道を見つけることができると信じています！！どうか身体を大事にして、一瞬一瞬を大切に頑張ってください！！心から応援しています。

就活に縛られない！

S. K 【三重県庁】 地方公務員

1. 就職活動を振り返って

就職活動を終えて一番の感想は「とても充実していた」という事です。もちろん第一志望であった三重県庁に内定を頂けたことも要因の一つなのですが、それ以上にゼミの活動や卒論の進行、友達との遊びなど様々な事を同時に行った事でより充実した就職活動になったと思っています。

具体的に言うと3年次はゼミの報告の準備とバイト、遊び、試験勉強でドタバタし、3年の春休みと4年次は卒論と試験勉強でドタバタしていました。バイトや遊びといった事に関しては自分のさじ加減で何とでもなりますが、ゼミの報告と卒論の進行は自分が納得いくまでやるのでとても時間がかかりました。

ではなぜこんなにドタバタしていたのに振り返ってみると「充実していた」と言えるのか。それには2つの要因が挙げられます。1つ目はあまりに忙しかったので多少試験模試や試験の成績が悪くてもすぐに他の事に取り掛かる必要があり、あまり深く考えずに勝手にリフレッシュできていた点です。

公務員試験は勉強しても中々結果が出ないこともあり、そんな時毎回落ち込んだりグダグダしていると次のゼミの報告や卒論の中間報告が近づいてきたり、遊びやバイトがあったので一旦就活から離れることが出来ました。

2つ目はしっかりと時間を管理し、本当に必要な事だけを実行する力が付いたことです。あまりにも忙しかったので時には嫌になることもありましたが、試験勉強では要点を絞って勉強したり、ゼミの活動では他人に頼ったりして自分が一番やらなければいけない事を

意識して生活していました。

特に 4 年生になってからは卒論の進行と就活という 2 つの大きな目標があったのでより時間の管理を厳しめに生活していました。

このように忙しいながらもゼミの活動や遊びなどと就活を共存させることで結果的には「充実した」就職活動を行えたのではないかと考えています。

2. 就活生へ

公務員試験は勉強量も多く内定まで時間がかかる中々ハードな試験です。「本当に合格できるのか?」、「落ちてしまっていくとが無くなったら…」など悩みは尽きないと思います。そんな時こそ一旦就活から離れてゼミの活動や友達との遊び、バイトなどをやってみてください。そうすると本当に自分がやりたい事や、今やるべき事が見えるかもしれません。

特に公務員の場合は国、県、市でやれる仕事が違うので自分がやりたい事は何なのかしっかり考える必要があると思います。

もしその時何かに気づいたなら、そこでの気づきを大切に就活に縛られることなく本当に自分がやりたい事に向かって努力を積み重ねていってください。私の場合はゼミの先生や友達、バイト先のオーナーなど色々な人と話すことによって自分がやりたい事について新たな発見がありそれが面接などでも生きました。

これから就活が進むと周りもピリピリし始めて焦りや不安を感じる事もあると思います。もちろんある程度の努力が無ければ成功はありませんが、あまり気を張りすぎず自分のペースで頑張ってください。皆さんの就活が上手くいくことを願っています。

ありのまま

N. R 【三重県庁】 地方公務員

就活・採用試験のスケジュールまたは進路決定までの流れ

二年次秋頃～ 学内公務員プレ講座受講

三年次六月～ 学内公務員講座受講

三年次冬頃～ 色々な説明会に行き始める

四年次四月 国家総合職申し込み（以下申し込みは省略）、試験

六月 国家専門職、国家一般職、地方上級（三重県）試験

七月 国立大学法人試験、三重県庁二次試験

八月 三重県庁から内々定

試験対策、面接対策、自己分析、自己 PR、エントリーシート

一次試験についてはまあセンター試験の延長線上です。勉強してください。二次試験は己を知ることと職場を知ること、あとは文章力が必要になります。できればボランティア等の面接に役立つような経験をしておきましょう。

受験先の情報収集は公式サイトを見る、説明会に行くなどでできます。そのときに志望動機、

志望部署などを固めておくベターです。勉強のモチベーション維持にも繋がりますし、面接カード作成、面接、論作文と得た情報の用途は多いのでお早めに。

就職活動を振り返って、アドバイス、就活のポイント

公務員試験はやればやっただけの結果がついてくるものです。ペーパーテスト的な勉強はもちろん、二次試験についても練習量が重要です。とにかく慣れと対策です。模試を受けるとか面接練習をすとか、しっかり情報収集すとかですね。本番でガチガチになってしまうと思った力や自分が出し切れません。それは本当にもったいないことです。公務員試験は受けるだけならタダですから、電車賃をケチらず受けられるだけ受けましょう。場慣れするためにも可能性を広げるためにも重要なことです。

そういえば、面接カードや面接練習で内容や回答を公務員講座等の講師と協力し、ガチガチに対策して来るタイプの方が居ますが、どうも説明会で人事の方に聞いたところ、それはバレているようです。似たような面接カードや回答が続くなあとよく思うそうです。ありのままのあなたを見せてくださいともおっしゃっていました。慣れることは重要ですが、それがありのままの自分を見せることへの制限に繋がらないようにした方が良さそうです。もちろん固めないと緊張で面接どころじゃなくなるなら固めた方がいいでしょう。そこは人によってとところですよ。

公務員試験の戦略、攻略法は人それぞれです。私はその中でもかなりの邪道を進んできました。なんでも鵜呑みにするのはよくないことです。本記述の中であなたの役に立ちそうな所は存分に信用していただきたいのですが、これは違うなと思うところは絶対に鵜呑みにしないで話半分に留めておいてください。

最後まであきらめない気持ちが大切

T. A 【(三重県) 四日市市役所】 地方公務員

進路決定までの流れ

※今年も同じ日程とは限りませんが、参考になればと思います。

- 4月 国家総合職の一次試験
- 5月 裁判所事務官の一次試験
- 6月 国家一般職・国税専門官・県庁の一次試験
- 7月 国立大学法人等職員の一次試験、国税専門官の二次試験
- 8月 各大学職員の試験
- 9月 四日市市役所の一次試験(筆記試験(マークシート式・記述式))
- 10月 四日市市役所の二次試験(集団面接・集団討論)
- 11月 四日市市役所の三次試験(小論文試験・個人面接)

試験対策・面接対策

私は3年の6月から学内の公務員講座を受講して試験対策・面接対策を行ってきました。試験対策としては、自分が苦手な分野や模試を受験して間違えた問題をノートにまとめ、隙間

時間に見直しました。秋以降になると、就職支援カウンセラーとの面接練習やハローワークが実施する集団討論・個人面接練習にも参加しました。他の学生の面接を見学したり、面接官として練習に参加することで、面接官がどこを見ているのか、どのような点に気を付けたらいいのかが分かり、自分の面接練習にも生かすことができたのでお勧めします。

情報収集

公務員講座を受講していた同級生や、志望先から内定を貰った先輩、大学のキャリアカウンセラーから情報を得ていました。また、3年生の冬頃から説明会やセミナーに積極的に参加しました。事前にその官公庁について調べ、いくつか質問することを考えておき、説明会に参加しました。とある面接で、「説明会に参加しましたか?」「説明会に参加してどのような印象を持ちましたか?」というような質問をされたので、説明会に参加して自分が思ったことや印象に残ったことをノートに残しておく良かったと思います。試験対策として、過去問題集やホームページから過去の試験の傾向や出題例を調べました。第一志望だけでなく、併願先の官公庁についてもしっかり調べたほうがいいです。

就職活動を振り返って

なかなか進路が決まらず、焦りや不安もありました。それでも、面接練習をしてくれた先生やキャリアカウンセラーの方々の相談して、アドバイスをもらったり、今まで一緒に公務員試験を頑張ってきた友人と励ましあってきました。上手くいかない時もあると思いますが、信頼できる人に相談したり、気分転換をして気持ちを切り替えることが必要だと思います。最後まで諦めず、頑張ってください。希望する進路に進めることを祈っています。

自信をもって選考に臨むことが大切

K. M 【(愛知県) 稲沢市役所】 地方公務員

1. 就活スケジュール(私が受験した2018年の場合)

- 3年生6月 : 学内生協公務員講座を受講し始める
- 12月～3月 : 官庁の説明会、情報収集
- 4年生4月～6月 : 一次筆記試験(国家総合職、国家一般職、地方上級など)、稲沢市説明会(6月)
- 7月 : 稲沢市一次試験、稲沢市以外の受験先の二次面接試験、国家一般職各官庁個別業務説明会
- 8月 : 稲沢市二次試験(集団討論)、国家一般職官庁訪問
- 10月 : 稲沢市三次試験(個人面接、小論文)
- 10月下旬 : 稲沢市合格発表(内定)

2. 試験対策

- ・筆記対策

講義をしっかりと聞いて、その後に復習して内容を理解することを心がけていました。そうやって理解した内容がちゃんと定着しているか、問題集を解いて定期的にチェックしていました。また、公務員試験突破にはある程度の勉強量が必要になると思います。そのため、勉強のモチベーションの維持のための自分なりの方法を持っておくといいと思います。私は、勉強時間を記録する携帯アプリを使ってモチベーションを高めていました。

・面接対策

公務員講座で主に対策しました。面接対策には情報収集が欠かせません。志望先のホームページを見たり、パンフレットを入手したり、説明会に参加したり、ときにはアポイントメントをとって職場訪問をするとよいと思います。ここで私が大事だと思うことは、少しでも興味があるならば調べてみる/参加してみるということです。試験の通過状況によっては受験先を増やしたり、志望先(本命)を変えたりしなければならないときがあります。そうした状況に直面したときにも面接などに対応できるよう、いろいろな官庁や自治体の情報を持っておくといいと思います。

私は公務員試験の面接の通過率があまり良くありませんでした。後から振り返ると、自分の面接態度は面接官に自信のなさそうにとられてしまっていたかもしれないと思いました。志望先について情報収集をしても、受験先の人が聞いたらの外れ/浅い内容だと思うかもしれないという漠然とした不安があり、それが本番で無意識に出てしまっていたのかもしれないかもしれません。私はそれを反省して、面接練習をする際の面接官役の人に「この回答どう思いましたか?」と確認したり、自分で考えた想定質問への答えを文章化して人に見せて、アドバイスをもらうようにしました。

3. 就職活動を振り返って、アドバイス

私の場合、事前に思い描いていたのとは異なる就職活動の状況となりました。こうなることにも備えて、情報収集先や受験先はなるべく幅広くしておくことをおすすめします。

自分をよく知ること

M. Y 【(愛知県) 豊田市役所】 地方公務員

就活スケジュール

3月 交換留学へ行っており帰国したのは就活解禁後の3月2日でした。説明会への参加など本格的に就活を始めたのは帰国後です。3月に大学の合説に2回、個説に9社参加しました。

4月 ESの締め切りに追われつつ、1次試験・面接が始まりました。何度も就職支援センターでES添削をしてもらっていました。下旬のGW前に1つ内定を頂きました。

5月 ES提出が終わり、時間に余裕が持てるようになりました。

6月 第2志望の内定を頂きました。第1志望の最終面接の5分間自由プレゼンテーションの推敲を重ねていました。

7月 第1志望の内定を頂きました。

自己分析

面接を思い返すと、自分のことに関する質問が多かったなという印象です。面接だけでなくESを書く際にも自己分析は重要でした。私はまず自分の強み、弱み、今までの経験、その経験で感じたことや学んだことを全て書き出しました。それに基づいて、どういう時に強みを生かしたか、どういうことを経て弱みを克服したか、というように経験を交えて話すようにしました。また第1志望の最終面接で課せられていた5分間の自由プレゼンテーションでは、経験で得たことを御社でどう生かしていくかを話しました。自分がどういう人間でどう企業にアピールしていくのか、自己分析はしっかりやるべきだと思います。

自分を知ること

自己分析だけでなく、自分を知ることが大切だと思います。就活は辛いことも多く精神的に不安になることもあります。その中でいかにストレスを減らして頑張れるかがポイントだと思います。例えばESは手当たり次第出してみるのか、最初から狙いを定めるのか。どちらが良いというわけではないので、自分が向いている方を考えてみれば良いと思います。

私は、就活は自分との戦いだと思います。家族・友人をはじめたくさんの人が支えてくれましたが、頑張るのは自分です。諦めず、納得のいく結果を得るために精一杯頑張ってください。

[Take it easy] 気楽に行こうぜ

S. K 【住友電装株式会社】 製造業

タイトルは何もしないでいいという意味ではありません。僕の就活は take it easy とはいきませんでした。そこでみなさんが take it easy でいくために僭越ながら一筆認めさせていただきます。この文章を書く上で自分が三年の今頃なぜこれをしなければいけないのだろうと思っていた事、今現在の自分の考え方に焦点を当て、理由も述べたいと思います。

① インターンシップ

夏・秋期のインターンが終わったタイミングですが冬期のインターンに行く機会があるなら行くべきだと思います。その会社の事を知り、知見を広げるといった理由もあるのですが一番の理由はいろいろな学生と出会えることです。学生との交流は就活の中で一番価値がある時間といっても過言ではありません。その業種について何を考え何を思っているかを聞いたりすることで単純な知見も増える事は自明で、尚且つ自分との考えをリンク、または対比させることにより自分自身の考えや認識に新たな方向性やビジョンを見出すことが出来ます。私自身他人の考えでいいなと思ったものは積極的に取り入れ、自分の考えに落とし込むことは就活中よくしました。自分の言葉や考えをまとめたり、次に述べる自己分析をするときにオススメです。

② 自己分析の必要性

私自身先輩から自己分析をしると沢山言われなぜ必要なのか疑問に思っていました。しかし三月に入り面接をするようになると自己分析の壁にぶつかります。インターン選考にも面接はありましたが本選考になるとその倍以上の時間の面接になり、一社あたりの回数も増えます。その中で面接官が求めてくるのは就活生の発言に関する一貫性です。自分がその業界、職種につきたい理由がはっきりしていると自分の発言に一貫性と厚みが出て面接官を納得させることが出来ます。そして自己分析はなるべく早く始めた方がいいと私は就活を終えた今思っています。理由は自己分析に触れる機会を増やすためです。というのも自己分析は今までの自分はどうだったかを見つめ返し、過去の自分はこうしてきたから将来はこうしていきたいと考え抜くものと普段何気ない状態から思い浮かぶものがあります。後者は自己分析を普段から意識しておくことで上述した通り人との会話や本やネットの情報から自己分析が形成されていくと考えます。そのためなるべく早くから意識すること、少しの時間でもいいのでこれからや就活のことについて考えていくことが自己分析の量と質を高めることに繋がり結果的に面接の強さに結びつきます。

③ グループディスカッション (以下 GD)

面接とは違い他の就活生の言動が自分の合格に響くのが GD の難しいところだと思います。

基本的には相手の意見を尊重、否定はしない、きちんと周りに目をやれるか、自分の意見ははっきり言えるのかチーム全員で受かるように努力することが前提です。ですが中には暴走機関車みたいな人が居ることも事実です。その中で私が意識していたことは大きく二つあります。一つ目は自分の存在をはっきり表すことです。GD は周りの皆が優秀に見えてしまいがちですがそれは周りの皆も同じです。私はGD が始まる前から周りの皆と会話をしたり、始まってからは自分の意見を堂々と言うように心掛けました。すると皆も自分に一目置いてくれるようになり意見が言いやすくなりました。これはマウントを取れと言っているわけでは無く、たまに現れる暴走機関車にマウントを取られる事への予防、もし自分が周りへの配慮が出来ていれば議論も活発になり個人としての合格もチームとしての合格も近づくといった効果があると思います。二つ目に自分の意見を強引に押し通そうとしないということです。GD には基本的に正解がありません。限られた時間の中で自案の A と他人案 B のどちらが正しいかを言い合っているのはきりがないので折れるときは折れるのもいいと思います。その中で折れた自分の A を否定することが出来れば採用した B をより強い根拠で言えると提案することで自分たちの意見をより正解に近づけていく事を私は心掛けました。これは個人としての柔軟な姿勢のアピールとチームとしての意見の根拠や理由の強化に繋がったと考えています。このようにチームでの協調性と自分の個としての能力をアピールすることが合格への道だと思います。

あと最後にGD が始まると軸を決めるようになります。そんな時にオススメなのは「もっと軸細かく決めませんか？」の一言です。それによって軸を突き詰めることでチームのみんながより具体的にイメージを共有して議論できるようになります。これは面接官受けがだいぶ良かった神フレーズです。ぜひ使ってみてください。

以上が今の皆さんに伝えたい項目です。この文章を読んでもらい実行してもらえれば就活は It's a piece of cake! きっと大丈夫です。自分を信じて頑張ってください！！

就活を楽しむ

Y. R 【シンフォニアテクノロジー(株)】 製造業

・就職活動の流れ

- 2月まで インターンに3社ほど参加
- 3月 合同説明会・学内説明会に参加、個別説明会の予約を始める
Spi テストにて初めての落選を経験
- 4月 ほぼ毎日就活、エントリー数を増やす、初めての内定獲得
- 5月 最終選考が増えてくる
- 6月 内定をいただいた企業から最終的に入社先を決める

・習うより慣れろ！

就職活動を始めた頃の頃は、何をすることもとても緊張すると思います。私も、初めての Spi テストでは、まったく実力を発揮することが出来ず、挫折を経験しました。また、集団面接・グループディスカッション・個人面接・最終面接は、それぞれ似たもののようで全く違う雰囲気なので、初めての時はどれもとても緊張すると思います。そこでアドバイスしたいのは、「習うより慣れろ！」ということです。就活について、先輩などから様々な体験談やアドバイスをもらうことがあると思います。わたしも、そのようなアドバイスを受け、自分の中で完璧なシミュレーションをこなして就活に臨みましたが、最初は平凡なミスから思いもしないようなものまでたくさんの失敗をしてしまいました。しかし、そのミスをなぜしてしまったのかをしっかりと考え、対策を重ねていくことによって、どんどんと選考が進んでいくようになると、だんだんと就活自体を楽しめるようになってきました。そこで、これから就活を始める人には、とにかく自分で経験をしてもらいたいと思います。おすすめなのは、とにかく多くの説明会に参加をし、そこで質問をして人に見られながら話す練習をしておくことです。私が入社を決めた企業は、もともと志望していたものではなく、とにかくエントリーを増やそうとしていた中で出会ったものなので、自分の可能性を広げるといった意味でもいろいろな企業の選考を受けてみることをおすすめします。

・最後に

就活は自分が動いた数だけ選択肢が生まれていくのだと思います。そして、やればやっただけ終わったときに後悔しないで済むと思います。悔いのない就活にするためにも、この数か月間だけは妥協せず、就活としっかり向き合って頑張ってください。応援しています。

いかに自分という人間を表現できるか

I. Y 【トヨタ自動車（株）】製造業

・就職活動を振り返って

一年前のこの時期、私は何がしたいのか、どんな企業に入りたいのか、モヤモヤした気持ちを持っていました。そんな私でも、一年後の現在、就職活動を通してやりたいことを見つけ、満足のいく形で就職活動を終えることができました。そこで私からは、皆さんが少しでも満足のいく就職活動ができるよう、就職活動を終えて感じたことをお伝えできればと思います。以下では、就職活動を通して心がけるべきと感じた2点をお伝えします。

① 自分自身と真剣に向き合う

これが一番自分の中で苦勞し、時間を費やす必要があることだと考えています。就活で一番大切なのは「自己分析」とよく言われるように、自分が今までどのように生きてきて、今何

を感じているのか、そして、これからはどのように過ごしていきたいか、私自身、常に自分に問いかけ、意識していました。私の場合は、多くの合同企業説明会へ足を運び、多種多様な企業のお話を伺うことで、自分が興味を持っていることに気づき、そこから自分は何をしたいのか深堀をしていました。

また、②にも繋がりますが、結局面接で問われることは、「あなたは今まで何をしてきたのか、なぜそうしたのか」「これから何をしたいのか、それはなぜか」ということなので、私はこういう人間だということを、自分自身で明確に伝えられるような自己分析が重要であったと感じています。

② 短時間でいかに自分の魅力を伝えるか

就活は面接勝負です。ES 等も大事ですが、面接で自分をしっかり伝えられるかがより大切であると考えています。そのために、「自分に自信を持つ」ということがとても大切です。これは、当たり前のことだと思われるかもしれませんが、本番になると忘れがちになることがありました。そして、自信を持つためには、企業に自分をどうアピールするか、すなわち、自分という人間をいかに表現できるかにかかっており、繰り返しになりますが、そのための自己分析が必要不可欠であったと実感しています。

以上のように、私は、自分とはどのような人間か、就職活動を通して常に問いかけ、明確に伝えられるように意識していました。まだまだ就職活動はこれからという方や、始めたばかりという方が多いと思います。これから就職活動を機に、自分自身の新たな一面を発見することも多々あるのではないかと思います。大変なイメージが抱かれる就活ですが、自分自身と向き合えるととても良い機会であったと私は感じています。皆さんが、悔いの残らないような就職活動ができるよう願っています。最後まで読んでいただきありがとうございました。

業界研究、企業研究はしっかりと

M. K 【(株) NOK】 製造業

スケジュール

- 2月 合同説明会、インターン
- 3月 個別説明会、ES、web テスト
- 4月 グループディスカッション、一次面接
- 5月上旬 二次面接、初内定
- 5月下旬 最終面接
- 6月上旬 本命から内定

インターン、就職情報サイト、合同説明会

インターンは文系のメーカー志望の場合、参加しても選考で優位に働くことはほぼありません。どうしても行きたい理由がなければ無理に行く必要はありません。就活情報サイトは主にリクナビを利用していましたが、本エントリーはリクナビなどを經由すると時間がかかるため、個別にエントリーページがある場合はそちらからエントリーしたほうが良いです。合同説明会については、サイトを見れば分かることばかりで、個人的に行く意味はあまり感じませんでした。ただし、3月以降にある個別説明会は企業研究のために行ったほうが良いです。

就職試験、面接対策、エントリーシート

SPI や web テストは対策しておかないとかなり苦労します。出題の形式的に中学受験組が得意である傾向が強いので、そういった友人に教えてもらおうと良いです。ES は手を抜かずに書けば大体通ります。早めに提出しないと選考のスケジュールが遅れてしまうので、ひるまらずに出していったほうが良いです。面接は金融業界のように圧迫面接はあまりなく、和やかな雰囲気であることが多いです。自然に会話できるかが重要ですので、真面目に受け答えするだけではなく、時にはジョークを言ったりすると良いです。

アドバイス

「三重大生であれば三重県内の就活は無双できる」とよく聞きますが、文系メーカー志望の場合、そんなことはありません。また、東海圏以外での知名度はほとんどありませんので、関西・関東での就職を希望している方は覚悟しておいたほうが良いです。

自動車関連メーカーを受けるときの注意ですが、東海圏の学生は愛知県内にトヨタ系列のメーカーが多く存在するため、それ以外の企業を見ようとせず、関東・関西圏の学生に比べて業界研究が不十分である場合が多いです。二次面接、最終面接では同業他社について質問されることがありますので、せめて競合他社や業界地図に載っている企業くらいは把握しておきましょう。

4、5月あたりになると理系が推薦で内定を決め出すので焦ると思いますが、あまり気にしないようにしましょう。文系同士でメーカー就活をする仲間を作っておくと情報共有もでき、気持ちも楽になります。

就活中はいろんな人に相談すると思いますが、結局頼りになるのは実際に就活を戦い抜いた先輩たちのアドバイスです。就活で迷ったり困ったりしたことがあったらまずは信頼のおける先輩に聞くと良いでしょう。

文系のメーカー就職は本当に狭き門です。大変なこともたくさんあると思いますが、頑張ってください。

とにかく動くことが大切

Y. Y 【東海カーボン（株）】 製造業

・就活の流れ

- 3年次 6月～ インターンシップに参加
 - 10月～ SPI 等の勉強開始・情報収集
 - 3月 合同説明会・個別説明会参加
- 4年次 4月～ 個別説明会・面接
 - 5月 内定

・やっておいてよかったこと

【自己分析】

・就活の軸を明確にする

→就活を始める前に一度入念に自己分析をしておくことで、後になって自分にとって無駄な企業の説明会への参加やエントリーをしてしまうことを避けられます。また、面接の際にも就活の軸が定まっていると、なぜその企業で働きたいのかをアピールしやすいです。

・ESをできるだけいろんな人に見てもらう

→ESを多くの人に見てもらうことによって客観的に評価してもらうことができ、自分が書いているときには気づけなかった点に気づくことができます。できるだけ多くの人に添削をお願いして、より良いESを書くことがES通過のカギになると思います。

【面接】

・とにかく場数を踏む

→就職活動が初めての面接の経験になる人もいます。そこで自分の力を発揮するにはとにかく経験を積んでから挑むことが重要です。マイナビやリクナビでのセミナーや、学校でも面接練習を行うことが出来るので、積極的に参加して経験を重ねていきましょう。

・さいごに

私が就活で一番大切だと感じたことはとにかく自分から動くことです。自分から積極的に動くことによって、より多くの情報を得ることが出来ますし、自然に就活の準備も進んでいきます。また、就活の準備が進むと自分の心に余裕も生まれてくると思います。

まだ就活の準備が全然できていないという人も、これから「とにかく動く」ことを意識して、悔いのない就活をしてください。応援しています。

真面目に過去・将来を見つめる

M. M【東邦ガス（株）】電気・ガス・熱供給・水道業

・私の就活スケジュール

9月：夏季インターンシップ(5days 1社)

10月～：自己分析・ES作成開始

12月～2月：学校主催の就活セミナー、冬季インターンシップ(1day 2社)、SPI対策、エントリー企業群の決定

3月：エントリー(30社程度)、合同・個別説明会(20社)、ES提出開始、早期選考開始

4～5月：リクレーター面談、選考、内々定、就職活動終了

内々定：6社、最終選考：11社(内、4社辞退)

・就職活動アドバイス

①自己分析・ES作成・SPI対策について

自己分析やES作成は早めに作成しておく必要があります。なぜなら3月に入れば想像以上に時間がないからです。そのため、3月までにリクナビのOpenESを完成させ、企業別のESにも対応できるようにしておくべきです。

SPIの対策についても同様に、3月に入ると、企業別のESに頭を抱えることになるので、勉強する時間は基本的には確保できないと考えた方が良いでしょう。そのため、2月までにしっかり参考書等で対策することがオススメです。適性検査には様々な種類があるので、自分がエントリーする企業がどの形式での適性検査を採用しているのかを把握し、それに応じた対策ができると無駄を省くことができます。

②リクレーター面談・選考について

リクレーター面談は全ての企業にあるわけではありません。エントリーした企業から突然電話連絡が来て面談を決めることがほとんどなので、就職活動中に電話が掛かってきたときは、丁寧な対応が必要です。リクレーター面談も選考の1つです。気を抜くことはできないので、真剣に取り組み、隙を見せることがないようにすべきです。

選考(面接)において、面接官から聞かれることは基本的にESの質問事項と変わりません。自分が作成したESの内容はしっかりと押さえて面接に挑みます。「自分のことは自分が一番知っているから面接でもその場で考えれば大丈夫」という考え方は油断です。いざ面接に向かうと、緊張でうまく頭が働きません。なので、事前に自分のESに向かって質問をたくさんして、答えを用意してから面接に向かってください。

・最後に

就職活動は自分を知るために過去を見直し、これからを作るために将来を見つめることが

大切です。終わってから後悔しても結果は変わりません。なので今やるべきことは必ず実行してください。そうすれば就職活動はうまくいきます。皆様が就職活動を成功することを祈っています。

最小限の労力で最高の結果を

K.M 【(株) NTT ドコモ】 情報通信業

○選考対策

<ES>

- ・視座を高く設定する
 - ・仕事を通して成し遂げたい最終目標（小）→なぜその目標を達成したいのか（小）→目標達成のためにその業界を選んだ理由（中）→業界内でもその企業を選んだ理由（中）
- 上記の要領で書いていました。

<適性検査>

- ・最低限、テストセンター対策をしておくべきだと思います。
- ・性格検査はかなり正直に答えても大丈夫です。むしろ、取り繕うと面接での印象とズレが生じます。(基本的には、“やや”等の曖昧な回答より振り切った回答の方が良いらしいです)

<GD>

- ・議題とその目的を整理して共通認識を作る
- ・実体験や最近のニュース等の具体例を挙げる
- ・議論が煮詰まったら視点を変える（企業目線からユーザー目線 等）
- ・発言が少ない人にも意見を求める * 2個目と3個目で差がつかます。

<面接>

- ・ES に書いたこと一つ一つに対して、“なぜ？”を5回ずつくらい繰り返して考えや行動の理由を段階的に整理し、明確にしておく。(自分の考え方の基である原体験の把握が重要)
- ・本、新聞を読んで様々な人の意見を知っておく。

○アドバイス

私は、事前の準備やコツコツしたことが面倒だと思ってしまうタイプなので、就活のスタートも周りより遅く、市販の自己分析、業界研究、SPI 対策はほぼゼロ、TOEIC も受験しませんでした。しかし、それが失敗だったとは思っていません。就活のコツは、要領よくこなすことだと思います。尊敬できる先輩や社員の方を参考に、自分なりの方法を探してみてください。

ただ、企業研究はしっかりするべきだと思います。特に、大企業は事業範囲が非常に多岐にわたるので、イメージしていた仕事と全く異なる場合があります。(ドコモもショップのイメージが強かったですが、実際の運営は全くの別会社でした)。後々、エントリーしておけ

ばよかったと後悔する会社がないように、大企業からベンチャーまでチェックしておくことをおすすめします。

最後に、就活で一番大事なことは、とにかく視座を高く持つことです。学歴フィルターなんでもありません、ただの負け惜しみです。自信を持って挑戦してみてください。きっと大丈夫です。

事前準備でいい就活のスタートを切る！

S.N【(株)アビームシステムズ】情報通信業

○就活スケジュール

2年生:夏休みと冬休みに1社ずつインターンに参加

3年生8月9月:インターンシップ(2社)

12月:オープンESを書き始める(2月には添削まで済ませる)

1月:SPIの対策本を1周する 会社説明会(3社)

2月:インターンシップ(3社) 合同説明会参加

3月:学内説明会 会社説明会(10社くらい) ESの準備

4月:面接本格化

○利用した就活情報サイト、合同説明会

サイトはとにかくいろんなものに手を出しました。しかし、本当に使って役立ったものは少ないです。

Offer box やキミスカなど逆求人型のサイトも使いましたが、ベンチャー企業からのオファーが大多数でした。最終的にはリクナビ、マイナビ、One Career を利用しました。

合同説明会は学内とマイナビの合同説明会に参加しました。内容は、学内合説とあまり変わらないですが、他大学の人の温度感を知るためにも1回参加するのはアリかなと思います。

○やって良かったこと

まず1点目は、ESを早めに取り組むことです。特にオープンESは色々な企業に使うことができるので、2月までに完成させました。また、自己完結させるのではなく必ず誰かに見せましょう。特に就活を経験したことのある先輩やキャリア支援センターの方に見せるのがおすすめです。

2点目は、面接で会話のキャッチボールを心掛けることです。面接官は必ず自分のエピソードを深掘りしてくるので、正確に質問の意図を捉えることが重要です。そのためにも、最初は志望度の低い会社を受けるなど場数慣れするようにしました。面接は緊張するので、慣れることがまず大事です！

○後悔したこと

希望の業界は早めに固めておくことが大事だと思います。私は、面接を受けているうちに志望していた業界が自分に合わないと感じ始め、最終的にはほぼ業界研究していなかった業界に飛び込みました。そのため、3月にESと同時並行で業界研究を進めることになってしまいました。3月4月はカツカツに予定が入ることもあるので、前もってきちんと調べればよかったと後悔しました。

○アドバイス

就活は決して一人ではありません!周りの人やサイトなどをフル活用させて、自分だけではできないことを補いましょう。就活は長いように見えてあっという間です。早め早めに行動して、周りとの差をつけると心の余裕もできるはずです。みんなスタートラインは同じなので、焦らずに頑張ってください!

情報収集が重要

N. T 【(株) オービック】 情報通信業

○就活スケジュール

- ～12月 インターンシップ、説明会、合同説明会に参加
- 1月 自己分析、適性検査対策
- 2月 業界研究・企業研究を行い、志望業界の絞り込み 面接開始
- 3月 合同説明会・企業別説明会、ES提出、適性検査、面接
- 4月 企業別説明会、面接のピーク、内々定→就活終了

○就職活動を振り返って

私は多様な業種・業界のインターンシップに参加したことが良かったと思っています。参加した企業の情報だけでなく、業界の知識も得ることができたからです。ESや面接では必ず志望理由について問われます。その際に、他業界との違いや、他社との違いを明確に提示することで、その企業で何をしたいのか、なぜその企業でなければならないのかを伝えることができます。これが企業へ志望度の高さをアピールすることにつながりました。

○就職活動のアドバイス

就職活動では情報を収集し分析することが重要です。企業の情報は、合同説明会に参加することで一気に集めることができるので効率的です。合同説明会で興味を持った企業については、ぜひ企業別説明会に足を運んでみてください。志望度が低い場合でも、業界についての情報を収集することができます。また、第一志望の企業と比較をして、自分はなぜ第一志望の企業が良いのか、この企業の何が合わないのか、企業を軸に自己分析を行ってみ

てください。すると、志望理由が明確になるとともに、自分と選考中の企業がマッチしているかわかります。

面接に関しては、堂々と笑顔で挑んでください。情報収集をして自分なりの解釈ができていれば、どんな質問にも的確に答えられるはずです。これを自信に変えることができれば、面接で苦戦はしないと思います。

○おわりに

就職活動は人それぞれのやり方があると思います。私は、インターネットから情報を集めるより説明会に参加した方が情報を集めやすかったです。だからと言って真似をする必要はなく、自分に合っている方法を見つけてください。周りの話を聞いて、落ち込んだり、焦ったりせず、自分に合った方法で、自分に合う企業を見つけてください。体調に気をつけて頑張ってください。

早くからの準備が大事

Y. K 【(株) 三重電子計算センター】 情報通信業

①企業選び

3月の大規模な合説までに業界と職種は決められるよう、数回の自己分析をしたうえで、自分の好みを掛け算して考えてゆくとよいかと思います。興味を持った業界の「どこが魅力なのか」、反対に「どこがしんどいのか」など、ざっくりとしたイメージを知ることが業界研究の序盤かと思えます。中盤では細かい働き方を調べます。その業界にはどのような仕事があり、行きたい企業はなにを担当しているのか、どの工程を中心に活動するのかを知って、イメージを確かなものにするとうまいかと。終盤では、集めた情報をもとに企業同士を比較します。立地や業績推移、主要な取引相手を見つづ、特徴づけて整理していました。

②個別企業の説明会やインターンシップ

質問タイムで積極的に手を挙げられるように、①の下線部を調べた上で、なるべく予習してから望むべきかと思えます。「事前知識不要」というのは9割嘘です。情報を得るために、複数社が集まる合同企業説明会やインターンシップ紹介の合説を活用し、検索に有効な単語をそろえましょう。

③服装

基本的にはビジネスの場にお邪魔するので、スーツは濃紺無地が良いと思います。黒無地はフォーマルなものに分類されるので、本気で行きたいところに黒で行くのは避けた方が無難化だと思います（結婚・葬式場の運営会社とかは別かもしれません）。ただ、まわりは基本

的に黒を売りつけられているので黒しか着ていません。目立ちたくない場合は黒字に薄く細線のストライプが入ったものにすると思います。

④IT 企業で確認しておくの良いこと

一応中心的にみていたのは IT 企業でしたので、早い段階で知っておくと良いポイントを 2 つ、自分なりのものではありませんが挙げておきます。1 つ目は、「会社の業務形態」です。(1)メーカー系、(2)ユーザー系、(3)独立系（ここ検索もしくは質問ワード）が主流で、それぞれ働かせ方が異なります。社によってはお得意さんも異なるので、そのあたりをある程度知っておくことで、どこから手をつけたら（何を聞いたら）いいかわからない状態を回避しやすいと思います。2 つ目は、「転勤（取引相手企業への出向）の有無」です。ちょっとの研修ですぐ飛ばされる企業は黒であると疑った方がいいです。本社の待遇は良い（出向先あるいは派遣先の労働環境は知らん）という企業もあるので、裏がないかを探りつつ質問できる選択肢は増やしていきましょう。全然ブラックじゃないよ、という言葉は嘘っぱちです。社員さんの顔色（体調的な意味で）とかを見ていくのもいいかもしれません。

多様な経験・考えを得ることが大切

I. K 【(株) 中日新聞社】情報通信業

・エントリーシート

就職支援講座や個別の企業説明会で得た情報を基に企業独自の強みと求める人物像を把握し、企業独自の強みを基に志望動機を、求めている人物像を基に自己 PR を書きました。特に、自己 PR については、エピソード自体の内容ではなく、そこから何を学び、今の自分にどう生きているかという部分を重視すると良いと思います。

また、新聞社では他の業界よりも志望動機がかなり重視されているように感じたので、なぜ志望しているのか、入社後にどうしたいのかをより明確にしておくことをお勧めします。

・試験対策

SPI の問題集を軽く解いておけば、対応できます。ただ、SPI とは異なるテスト形式を採用している企業もあるので、自分が志望する企業によっては、SPI 以外の対策も必要です。また、新聞社に関しては、独自の筆記試験を課されます。時事問題や英語についても対策が必要ですが、特に作文が重視されることが多いので、準備しておくことをお勧めします。

・面接

和やかな雰囲気が進む企業が多く、面接というより雑談に近かったです。ただ、雑談に近いからこそ、より人柄が評価されやすいと感じました。そのため、自分が面接官であればど

のような人物を望むかということを考え、アピールすべき人物像をあらかじめ掴んでおく
と想定外の質問にもスムーズに対応できるように感じました。

・最後に

就職活動で最も大切なことは、考えです。新聞社はもちろん、他の企業の選考においても、
これまでどのような経験をし、その結果どういう考えを持ったのかが重視されます。だから
こそ、ES や試験等の画一的な対策ばかりに囚われてしまうのではなく、日々の会話や講義、
本、新聞等を通して、自分の外にある様々な経験、そして、そこから得た考えを自らに取り
入れておくことが、就職活動における柔軟な対応を可能にし、内定という結果につなげてく
れるのではないかと思います。

最初の準備を大切に

T.N【中部国際空港（株）】運輸業

●就活スケジュール

3月以前：活動なし

3月上旬：マイナビ主催合同説明会、学内説明会、自己分析、業界選択

3月下旬：個別説明会、ES 作成・提出、適性検査受験

4月：個別説明会、ES 提出、一次選考、リクルーター面談

5月：一次・二次・最終選考、1社目の内々定（5月上旬）

6月中旬：最後の選考の企業から内々定を頂き、就職活動終了

私は3年次に留学して3年次の2月下旬に帰国したので、インターンも参加できず、他の
人より遅れて就職活動を始めました。業界は就活の途中で自分の考えが変わる可能性を考
え、かなり幅広く受けました。

●就職活動で力を入れたこと

私は帰国後少ない時間の中でも、特に自己分析と ES 作成に力を入れました。就活は企業
に自分を売り込むものなので自分をよく理解する必要があります。自分を理解していたか
らこそ予想外なことを面接で聞かれても対処できました。ES においても自己分析のノート
をみると書きやすかったです。また面接でも最初に提出した ES から基本的に質問されるの
で、ES に全力を出しておくとの後の面接が楽になります。

●他の就活生、社員さんから学ぶ機会

就活を振り返ってみると、様々な人から新しい考え方を学ぶ良い機会だったと思います。

関東・関西での選考では、他の就活生から就活テクニックを学びました。また社員さんから、私にはない考え方や話のまとめ方、就活アドバイスを教えていただきました。

そして入社先を決める時にも社員さんに会って決めました。“この人はこの状況だったらどう考えるのか”を質問し、その答えが自分にも納得できるのかを考え、参考にしました。

●最後に

就職活動は正解が存在しないので、あまり人と比較せず（企業に比較はされますが）頑張りがすぎなくてよいと思います。実際に私の場合、気を張って受けた選考ほど落ち、気楽に受けた選考の方が通過することが多かったです。人生になかなかない貴重な経験だと捉え、楽しむ勢いで挑んできてください。

早めの準備と、相談が大事

N. Y 【三重交通（株）】運輸業

私は就職活動については漠然とした焦りがありながら、やりたいことが明確ではない状況でした。活動は3年次に夏季インターンシップに2社参加し、11月ごろから自己分析やウェブテストの勉強を始めることから始まりました。

活動をする中で、準備の大切さをとても感じました。というのも、正直、就職活動には生まれ持った性格による向き不向きがあると私は思います。一生懸命頑張っても、本番でその半分も発揮できない人もいれば、本番にいつも以上のパフォーマンスを発揮できる人もいます。私は前者だったので、非常にづらい就職活動でした。しかし、向き不向きがあるからこそ、就職活動において、事前の準備が非常に大切であると感じました。

準備といっても様々で、3年次から自己分析を始めることやウェブテストを始めること、さらに選考を受ける中で、企業について調べつくすことも非常に大切です。深く考えすぎるとはよくないですが、人生において大切なポイントだということを意識して早め早めの行動をしてください。

そしてもうひとつ、私が就職活動においておすすめしたいことが、様々な就職活動に関する機関、サービスを利用することです。誰にとっても就職活動は初めてのことだらけなので、今までぶつかったことのない疑問や不安に直面します。そのため、就活生の相談を専門で解決してきた機関を利用し、様々な経験からのアドバイスをもらうことで問題解決につながりました。私は学内のキャリア支援センターや、おしごと広場みえ、厚生労働省が行っている電話相談などを利用していたのですが、非常に親身になって相談を聞いてくれるので精神的にも大きな支えになりました。

最後に、就職活動は非常にづらい時期が長く続きます。今までの人生で経験したことのない

い不安や焦り、多忙さに疲弊します。負のサイクルに陥らないように、友人や教授、家族とのコミュニケーションをとり、閉鎖的にならないように注意してください。自分自身の心身をいたわりつつ、悔いのない就職活動をしてください。

自分に自信を持ち続けること

M. A 【名古屋鉄道（株）】運輸業

1. 私の就活スケジュール

8～9月 夏期インターンシップに参加（5days1つ、1day2つ）

12～2月 合同企業説明会や学校主催の就活イベントに参加、自己分析、EPI対策、面接対策、エントリーシート定型文の完成

春期インターンシップに参加（1dayを中心に7つ程度）

3月 合同企業説明会、個別企業説明会に参加、ESの提出（20社程度）

4月 個別企業説明会に参加、1次面接、適性検査

5月 2次から3次面接、下旬には最終面接

6月 上旬に内々定

2. 就活の際に大切にしていたこと

I. 様々な業界を知ってみること

元々志望業界は特になかったため、夏期インターンシップ、春期インターンシップ、合同企業説明会を通じてインフラ・金融・保険・製造・情報通信、など様々な業界を見るようにしていた。2月頃になると、業界を絞ることを意識し始めると思うが、自分の価値観に近い業界を選ぶのに役に立ったと思う。

II. 就活の内容を気兼ねなく話せる友人と話すこと

就活の期間は一人での行動が多くなるが多かったため、友人と話せる時間がとても良い気分転換になった。行きたい業界が近く、情報交換ができる友人がいると大変心強くなる。

III. 準備をしっかりとすること

私は企業の情報収集や、ES対策、面接対策に力を入れた。企業の情報対策は、先輩社員との座談会や現場見学の際に多く出席し、その企業のことを少しでも知れる機会を増やした。面接でもその時のエピソードを用いて会話をすることができた。ES対策では、提出数は比較的少なめではあったものの、結構大変だった。就活解禁の1週間前までには自分だけでなく、多くの人に見てもらい、定型文を完成させておいた方が良かった。面接対策では、学校主催の面接講座、お仕事広場みえ、インターンシップの面接、志望度が低い企業の面接などを通

じてとにかく場数を踏んだ。面接では面接官との会話を意識して望むと良い結果が出たと思う。

IV. 自分に自信を持ち続けること

就職活動を通じて不安や焦りから自信をなくしてしまうことがあると思います。実際に私もそんな時期があり、良くしていただいた人事の方からご指摘をいただいたことがありました。そんな時には友人と話してアドバイスをもらったり、趣味でリフレッシュする時間を作ったりすることでなんとか乗り来ることができました。

自分を取らない会社とは価値観が合わなかった、自分が活躍できる環境はどこかにあると信じて、自分の良さをアピールして行って欲しいと思います。

後悔をしないために

S. T 【ブラザー販売（株）】卸売業

内定先の選考フロー

- 2月 インターンシップへのエントリー
 - エントリーシート・Web 適性検査(インターンシップ)
 - 1 day インターンシップへの参加

Web 会社説明会

- エントリーシート提出(本選考)
- 3月 学力適性検査
 - グループディスカッション
 - 個人面接
- 4月 OB 訪問
 - 最終面接

5月 内々定

意識すべき点

皆様が後悔せず、納得して就職活動を終えるために、自身の就職活動を振り返り、意識していた点、そして意識すべきだった点を4点紹介します。

1. 目的意識を持つ

大学を卒業したのち、留学や進学など、多様な生き方が可能となった現代において、皆さま自身が就職を選んだ意義を考えてみてください。なぜ～を自身に問い、これから挑もうとしていることに自信を持ってください。

2. 自分のペースを保つ

周りと比べて不安になることがあるとは思いますが、自分のための就職活動であると念

頭に置きながら、ブレない軸を持ってください。

3. 人を頼る

一人で抱え込まず、先輩やOB、友人などを頼ってみましょう。他己分析やGD・面接練習など、自分では気づかない無意識なクセなどを知るいい機会にもなると思います。特に、共に就活をしている仲間との間で意見や情報を交換し、意識を高め合うことが重要だと考えます。

4. 発信力を高める

ES やGD・面接など就職活動において、発信力はとても求められます。発信力を高めるためには、何度も繰り返し取り組むことが重要です。自分が納得できるまでESは何度も推敲し、人前で話す練習をしながら、相手側に自分の想いが伝わるよう努力してみてください。

最後にはなりますが、今回の内容が少しでも参考になれば幸いです。応援しています。

就活の軸と一貫性を大切に

I. A 【タキヒヨー(株)】小売業

1. 就活のスケジュール

- | | | |
|------|-----|------------------------|
| 4年次 | 12月 | SPI対策、ES添削開始、自己分析、業界研究 |
| 1、2月 | | 合同企業説明会、インターンシップ参加 |
| 3月 | | 個別企業説明会、ES提出、筆記テスト |
| 4月 | | 個別企業説明会、ES提出、筆記テスト、GD |
| 5月 | | 面接 |
| 6月 | | 面接、内々定 |

2. 試験対策、面接対策、エントリーシート、自己分析、企業分析

○試験対策

試験対策についてはSPI対策の本を1冊用意して行いました。ただ、私の場合は企業独自のテストを企業に出向いて受ける形式のものが多くあったので各企業に関する知識も入れて筆記試験に臨むようにしていました。また、企業によってSPIの重要度は異なるので、志望企業がある場合はOBの方などからあらかじめ話を聞かせてもらうといいと思います。

○面接対策

大学の就職支援センターとおしごと広場みえの面接対策を3回ほど受けました。

○エントリーシート

エントリーシートについてはかなり時間をかけて添削を行いました。それにより自分の中に落とし込むことができ、面接でも自己PRや志望動機などを自分の言葉で自信を持って話

せるようになったと思っています。3月になってからは毎日企業説明会におわれ、1から添削を行っている暇はないので早い時期からゆっくり時間をかけて考えることをおすすめします。

○自己分析

生まれてから現在までの自分史を作り、その各出来事が起きた時に自分がどのように思ったかなどを細かく書き込んでいきました。また、親しい友人や家族に頼んで他己分析も行いました。

○企業分析

企業が行っている説明会やインターンになるべく多く足を運びました。また、企業の取引先訪問や販売している製品を実際に見に行き、同業他社との比較を行いました。

3. 就職活動を振り返って

就職活動が始まると何度も自分の判断が正しいのか迷うことが出てくると思います。そんな時に私が実際に大事にしていたのは「就活の軸」をぶらさないことです。たくさん悩むことがあると思いますが、たくさんの人と話して自分の考えを明確にしながら、決めた軸に対して一貫性を持って就職活動を進めたら満足いく結果がきっと得られると思います。体調には気をつけて、頑張ってください。

企業理念を知ることが企業分析の軸に

O.M【(株)ジェイアール東海高島屋】小売業

企業分析について

私が就職活動における企業選びで重要にしていた事は、「企業理念が自分に合うかどうか」です。

企業理念とは、“企業が何を成し得たいのか” 企業の風土・文化 “といった企業の目に見えないものを表面化した文章です。企業はHPやパンフレットなどでも必ずと言える程、企業理念を掲載しており、企業理念に合うような人材を欲しています。

就活生からするとどの企業にも必ずあり、業界や業種に関わらず比較できる上に、自分に合うかどうかを企業理念から考える事も出来ます。また、企業理念を知っているだけで面接の際の質問が深みのあるものになります。騙されたと思って企業理念を調べてみてください。そこに自分の将来したいことが見つかるのかもしれませんが。

質問についてはストックはいくつあっても困らないので以下参考にしてください！

(例) 実際にした企業理念を基にした質問

「御社の企業理念を日々の業務で感じる場面はどのような時ですか」

「企業理念について理解・浸透は全社的にされるんですか」

「企業理念についてどのように感じていますか」

はじめから業界を絞るな！

H. H 【(株) 日本政策金融公庫】 金融業

私の就活スケジュール

3年夏休み頃：3DAY s ・5DAY s インターンシップに参加

3年秋：1DAY インターンシップに参加&筆記試験対策&エントリーシート（ES）作成

3年冬：選考のあるインターンシップに参加&ES作成&面接対策

3年2月：おおよそ、受ける企業を選定。ESを磨く&面接対策

3年3月～：採用選考開始。説明会やESの締め切りに追われるが、GW頃にはかなり楽に。

3年6月：現在の内定先から内々定が出る。就活終了。

アドバイス①：色々な業界を見よう☆

私は、インターンシップに計20社以上行きました。業界はバラバラです。でも、それが良かったと思っています。

実際私は、はじめ「ありえない」と思っていた鉄鋼メーカーにインターンシップで行って見たところ、予想に反して関心を抱くようになりました。最終的に、選考を受けた企業の約8割がメーカーという結果に。そのときに、行動することではじめてわかることがあるのだと思いました。はじめから、この業界が良い！この業界は合わない！と思い込みで決めてしまっただけではもったいないです。実際に自分の目で確認することが重要であり、様々な業界をしっかりと比較するべきだと思います。

アドバイス②：就活は情報戦！積極的に友達や先輩と連絡をとろう☆

「就活は個人戦」と考えている人もいるかもしれませんが、実はそんなことはありません。

周り協力して情報を得ることこそ、就活を成功させるための鍵とも言えます。

同じ企業を受けている友達がいれば、面接で何を聞かれたのかを教え合うことができますし、志望している企業に勤めている先輩がいれば、過去の選考についてはもちろんのこと、実際に働いてみてどうかという「ぶっちゃけ話」も聞けるわけです。

時間が少ない中、1人で得られる情報は限られています。うまく周り情報と交換することも、就活では大切なことです。

就活で使ってよかったモノ

●日経新聞（日経テレコン）←志望動機などで●『就活四季報』←企業ごとに筆記試験の種類を確認●キャリア支援センターの模擬面接←面接は「慣れ」が大切●『これが本当のSPI3だ！』のシリーズ←筆記試験対策●友人・先輩・先生・家族←情報交換・ES添削・相談等

最後に

就活は誰もが不安に感じるものだと思いますが、実際に「動く」ことで新たな発見ができ、「自信」にもなると思います。1人で抱え込まず、ぜひ、周りの人と協力して就活を乗り切ってください。

自分を知り、企業を知る重要さ

M. J 【(株)大垣共立銀行】金融業

【受ける企業について知る大切さ】

自分が就職活動を終えてみて、最も重要だと感じたことは、自分の志望する業界や今から受けようとする企業について知っておくべきだということです。私は就職活動を始める前からすでに金融業界に興味があり、3年の夏、冬の両方で金融業界のインターンに参加するなど金融業界への情報は多く仕入れるようにしていました。また、その企業の業界や県内でのポジションやどのような点を強みとして持っているのか、社風はどのようなのか、企業の公式ホームページの最新のニュースは何であるのかなど細かいところまで調べました。そうしたところ、エントリーシートでも、志望動機で細かくどの点で志望しているか伝えやすいだけではなく、面接の場でも、相手からの質問に自信を持って答えられるだけでなく、自分から人事に向かって質問をする逆質問の質も上げることができました。緊張しやすい私は、就活が始まる前から面接に大きな不安を持っていましたが、細かく企業研究をすることでこれだけ企業を調べて落ちたら仕方が無いと、胸を張って面接に臨むことができました。業界、企業について知っておくことは面接の不安を取り除いてくれる大事なことだと考えています。

【エントリーシートは多くの人に見てもらおう】

自己分析を行っていく中で、自分の強みや弱みなどを見つけ、そこから自己PRや志望動機などを皆さんは練っていくと思います。そのなかで、多くの人に見てもらおうことで自己PRをよりよいものにできたと感じています。最初の自己PRは自分自身で考えなければなりません、そこでも親からみた自分の強みであったり、友達から見た自分の強みであったり、多角的にみることで自分の気づかない強みが見つかることもあります。また自己PRの完成後は、友達だけではなく、大学の先輩や大学のキャリア支援センター、新卒ハローワークなどに行き、多くの人に見てもらおう事が大事だと感じました。自分で書いた自己PRよりも伝わりやすく、強みをわかりやすくすることができます。さらに、相談することで就活後半の志望動機などをどのように書けば伝わりやすいのかの参考にもなり、よりよいエントリーシート作りに欠かせない事だったと考えています。

【おわりに】

私が就職活動を振り返ってみて、業界・企業分析と多くの人に自己PRなどを見てもらった

ことが一番大きかったと感じています。面接は、何か対策というよりも自信を持って臨むことが重要だと感じました。その自信をつけるためには、事前に受ける企業の事をたくさん調べ、多くの質問に対応できるようにしておくことと、多くの面接を経験し、場慣れしておくことが重要であったと思っています。皆さんはこれから就活の準備をし、経験していく中で、不安に思うことや悩むことが多くあると思います。そういうときには友達と話し合ったり、アルバイトをしたりなど好きなことをして気分転換をすることで乗り越えていけると信じています。就職活動は楽しんで活動した方が良い結果が出るとも考えています。楽しみながら、就活が終わった後に悔いの無い就活ができたと皆さんが思えることを心から願っています。

自分の考えを大切に

N. Y 【(株) 名南コンサルティングネットワーク】 専門サービス業

1. 就職活動全体について

就職活動で大事なことは、たくさんあります。自己分析、エントリーシート、合同説明会、面接などどれも重要です。では、どうすればいいかという、自分自身で最も大切なものを決めればいいですし、もっと言えばすべて自分で考えて行動していいのです。考え方に間違いはありません。まずは、就職活動においての自分の考えを固めると行動しやすいです。しかし自分の考えのみでは、不安になることもあると思います。その時は、先輩や先生方の色々な方の様々なアドバイスを耳にして、全てを鵜呑みにするのではなく、自分の中でフィットするものだけ選択し、自分の大切にしているもの、自身の考えをしっかりと持ちながら、就職活動に取り組むことを私はおすすめします。

2. 自分自身の考え

では、私の考えについて紹介します。私自身は就職活動期に、「未来がどうなるかは誰も分からないが、考えることで、新たな可能性は生まれる」と考えを軸にしていました。その中で、将来自分の仕事がAIに消されず残っており、自分はこの仕事を続けられ、給料も満足する程もらうことができ、家族を養うことができるか。これらのようなことを考えておりました。

そしてもう一つ私が大切にしていたことは、できるだけ多く志望先の企業の社員の方々とお話をすることです。私は働くうえで最も大切なことは人間関係だと思っています。その人間関係を知るには、直接社員の方とお話するのが一番です。座談会などの機会を設けてもらうことも多いですし、人事の方に、お願いをして、実際に働く社員の方とお話させていただく機会を用意していただくことも良いと思います。

3. まとめ

今回は具体的なことをあえて記していません。それは、「自分の考え」というのを大切にしたいからです。就職活動に、絶対こうしなければいけない、こうするべきだというようなものはありません。時に情報が多すぎて自分がどうすればいいか分からなくなる時もあると思います。もちろん周りの方のアドバイス等は非常に大切です。だからこそ周りの方の意見を大事にして、その中で自分が大切だと考えるものを自分のものとし、そして自分が行きたい道を目一杯進めることを願っております。

最後まで諦めない

O. A 【国立大学法人三重大学】教育・学習支援業

①就活・採用試験のスケジュールまたは進路決定までの流れ

私は生協の公務員講座を受講し、大学3年次の6月から一次試験対策、11月頃から二次試験対策を始めました。

国立大学法人の試験は、7月の上旬に一次試験があり、8月末から9月の上旬にかけて、各大学で二次試験と三次試験があります。私は国家系や地方系の官庁も併願していましたが、他と比べて国立大学法人は試験の時期が遅く、内々定を頂いたのも最後でした。また、三重大学は卒業生枠でも試験を受験できるので、三重大学を志望される方は両方の受験をおすすめします。

②就職情報サイト、合同説明会

各官庁のHP、国立大学法人説明会、各大学説明会（一次試験合格者向け、7月末～8月上旬）

③試験対策、面接対策、自己分析、自己PR、エントリーシート

一次試験については、国家系や地方系も併願していたため、教養科目の勉強と合わせて専門科目の勉強もしていました。国立大学法人の一次試験は教養科目のみで、数的処理や文章理解の科目は配点が大きいため、早めに対策を始めることをおすすめします。11月には文章理解の対策も兼ねてTOEICを受けました。4年次の4月頃からは、一般知識科目の対策を重点的に始め、参考書を買って空き時間に読んでいました。

二次試験については、3年次の11月頃から自己分析、面接カードの記入、集団討論の練習を始め、二次試験が本格化する6月末からは、先生や友人に頼んで、エントリーシートの添削や個別面接の練習をしました。大学ごとに試験科目が異なるので、志望先別に調べて対策を行うといいと思います（内定を貰える大学は1か所だけですが、併願はできます）。三重大学は、2次試験と3次試験が個別面接なので、面接中心の対策をしました。

④情報収集、企業分析

4年次の4月に、大学の職場訪問に参加しました。また、国立大学法人や三重大学のパンフレットを読んだり、志望する部署の業務内容が掲載されたパンフレットを読んだりしました。

⑤就職活動を振り返って、アドバイス、就活のポイント

不安やつらいこともたくさんあると思いますが、最後まで諦めないことが大切だと思います。すこしの差で合否が分かれることもあったので、本当に1点の積み重ねだなと感じました。結果がなかなか出なくても、最後まで諦めなかったらきっと報われると思います。困ったときは、友人や先生、先輩にたくさん頼って下さい。息抜きもしつつ、悔いが残らないように頑張ってください。応援しています！

周りに流されず「自分のペース」で

N. T 【日本年金機構】医療・福祉

私は、就職活動を終えて大切だと思ったことは「自分のペースで就活をする」ということです。最初は周りの人がやっているのに、自分はやってないと焦って必要以上に悩んでいました。同じような悩みを持っている人は、私の体験が少しでも役に立てれば幸いです。

●私の就職活動の流れ

10月～2月：公務員試験の勉強（教養試験のみ）

3月：合同説明会参加、自己分析

4月～5月：個別説明会参加、ES作成・提出、SPI試験・面接開始、
公務員試験開始（A日程）

6月：内定先や他企業から内々定を頂く、試験勉強再開

7月：公務員試験開始（B日程）

8月：全ての試験結果が出る 就職活動終了

●就職活動を振り返って

私は将来のことや就活のことを考えるのが嫌で、とりあえず公務員になろうと思っていました。しかし、3月の時点で試験勉強にも身が入らず、企業研究や自己分析もしておらず、インターンも行っていなかったため、周りと比べて自分に劣等感を感じていました。そこで公務員一本で臨むのをやめ民間企業に目を向けました。自分が少しでも興味があると思った説明会にとりあえず行ってみて様々な人に会い、話をしました。また、履歴書提出や面接

を受けるにあたって、自分について考える機会が増えました。それによって、自分は皆とは違うのだから「自分のペース」でいいと気づくことができました。それからは、説明会や面接では自分なりの楽しみや、やる気の出ることを探して取り組みました。結局公務員試験を受験し、とても長い期間になりましたが、楽しく満足のいく就活になったと感じています。就活で心がけていたことについて、説明会では、話してくれた内容を全てメモすることを心がけました。座談会などで他の就活生が質問したことや、休憩の時間に話してくれたことも全て書いておきました。どんな仕事をするのか、どんなことを思っているのかなど後で見直すことができるだけでなく、面接で話すネタに使えることもあるからです。また、面接では他の人が話さなさそうなことを話すことを心がけました。面接官が質問をしてくるようなことを言うことで自分に興味を持ってもらえ、時間も稼ぐことができました。それから所属しているサークルやバイトは休まずに出来るだけ顔を出していました。就活のことについて話せるだけでなく気分転換にもなるからです。

●最後に

就活はうまくいかないこともあります。固く考えず柔軟に考えることが大切だと思います。私は結果的に公務員試験と民間企業を並行して進めることになりました。就活は様々な選択肢があるということを知っておいて欲しいです。後悔のないように頑張ってください。

継続することが大切です

K. Y 【(厚生労働省) 三重労働局】 国家公務員

1. 採用試験の流れ

公務員の一次試験は4月後半から6月後半まであります。7月の初めに一次試験の合格発表があり、国家一般職は合格発表の次の日から官庁訪問（各官庁での面接）が始まります。国家一般職の二次試験は7月半ばから後半まででした。国家一般職・国税専門官・三重県庁の二次試験が同じ時期なので二次試験日が被る可能性もあるので、もしもを想定して優先順位を考える必要があります。

2. 筆記試験対策

教養・専門試験ともに足切点が設定されている場合が多いので、片方でも下回れば不合格になるので勉強方法に気を付けていました。教養試験は時間の配分が重要となるので模試や過去問に挑戦して、解く順番を考えることが重要だと思います。どの試験を受けるかによって変わってきますが、模試のように解き難い問題ばかりではないので基礎知識をしっかり固めることが大切だと思います。

専門の論述は、早めの対策を勧めます。論述でも足切点があるので、2月ごろからは一日一つは解いてみてください。

公務員は受けられる試験が限られているので、一次試験を合格することがとても重要です。志望度が低いものであっても合格できるように対策してほしいと思います。

3. 面接対策

学生時代の経験を整理することから始めました。学生時代の経験を振り返ることで志望動機につながりました。「苦労したこと・どんな対応をしたか・そこから学んだこと・職務にどう活かすか」を箇条書きにしていました。面接練習をたくさんすることで質疑応答のテンポや面接中の動作で気を付けるべき点が自然に身につきました。面接される側だけでなく面接官役をすると、面接中にどこを見られているかわかります。

4. 就職活動の振り返り・アドバイス

志望度の低い官庁の説明会にも参加してください。また、志望度が高い官庁には早い段階から積極的にアピールすると思います。顔・名前を覚えてもらうことが重要だと思います。自分のペースを見つけて対策を行ってください。

自分自身を見つめ直す

M. C 【(厚生労働省) 愛知労働局】 国家公務員

1. 内定までのスケジュール

6月	国家一般職1次試験(筆記試験)
7月10日	1次試験合格発表
13日	官庁説明会
16日	労働局説明会
26日	国家一般職2次試験(面接)
8月5日	労働局面接
20日	2次試験合格発表
	内々定

2. 試験対策、面接対策

大学3年次の3月から名古屋にある資格の学校で公務員講座を受け始め、他に受ける公務員試験の教科を考え取捨選択し、専門教科を絞って勉強。面接対策は、1次試験が終わってから公務員講座の面接練習と名古屋ジョブセンターで練習。

3. 就職活動を振り返って

公務員試験は、1次試験が始まり内々定が出るまで長丁場です。公務員試験を振り返って大切だと感じたことは切り替えをして試験勉強を続けていくことと情報収集をすることです。5月から毎週のように1次試験が始まり、本番までに集中力とやる気を切らしてしまうと1番のピークを試験当日に持ってくることができなくなるので、週に1回は休む日を作りリフレッシュすることは大事です。私は、集中力が長く続く方ではなかったので、週に1回はバイトをしたり、友達とご飯に行ったりしていました。自分にとって1番効率良い勉強法を編み出し、繰り返していくことをおすすめします。情報収集において、国家公務員の内々定は官庁ごとによって早めにもらえる所があり、また、面接ではどのような質問がされるのかある程度決まっていることもあるので、公務員試験を受けている友達との情報共有が大切となります。

4. 就職活動を振り返って、アドバイス、就活のポイント

アドバイスとして、面接で話すネタ作りをしておくことをおすすめします。「自分の経験に基づいているからこの仕事をしたい」という具体性がないとなかなか志望動機に本気さが見えてきません。そこで、インターンやイベントへ参加することで面接カードの内容において他の人と差をつけることができます。また、面接ではどのような人柄かを聞かれることが多いので、自分自身について見つめ直し、知ることも大切です。

情報収集はしっかりと！

K. N 【(法務省) 津地方法務局】 国家公務員

1 就活・採用試験のスケジュール

公務員試験は4年生の4~6月に1次試験、6~8月に2次試験があります。そのため、私は3年生の6月頃から学内の公務員講座を受講し、1次試験の勉強を始めました。個人面接や集団討論といった2次試験の対策は11月から本格的に始めました。2月頃からは、各官庁の説明会も開催されるため、志望先のホームページやSNSをこまめにチェックしておくことも重要だと思います。中には、選考に関係のある説明会もあるため、それぞれの官庁について業務内容などをしっかりと調べた上で説明会に参加するのがいいと思います。

2 就職情報サイト

国家公務員試験採用情報 NAVI、各官庁のホームページ

3 試験対策、面接対策

公務員試験は1次試験で、マーク式の教養科目と専門科目の筆記試験があります。2次試

験は官庁や自治体で異なりますが、小論文や専門記述に加え、集団討論や個人面接があります。1次試験の対策としては、問題集を繰り返し解き、模試を復習することが大事だと思います。国家公務員の試験は、専門科目の方が配点が大きかったので、教養科目よりも専門科目に力を入れて学習していました。2次試験の対策としては、月に2回ほど公務員講座で集団討論や個人面接の対策をする機会があったので、毎回それに参加し練習を重ねました。また、時事対策として新聞は毎日読むようにしていました。面接カードを書くときや集団討論をするときに役立つので、志望先に関する記事は後で読み返せるように記録しておくのがいいと思います。

4 就職活動を振り返って、アドバイス、就活のポイント

2月頃からは説明会に参加したり面接カードを書いたり、2次試験の対策に本格的に取り組まなければならないので、1次試験の対策に割ける時間が少なくなります。そのため、12月～1月は1次試験の勉強をできるだけ進めておいた方がいいと思います。私は、3月頃まで民法の勉強を疎かにしていて、試験直前に詰め込んで勉強することになってしまったので、苦手科目は計画的に勉強するのがいいと思います。

また、1年以上も勉強を続ける必要があるため、悩んだり不安になったりすることもたくさんあると思います。私も、勉強のことや志望先のことでも何度も悩みましたが、同じ講座生の友達から元気をもらったり、先輩方に相談に乗ってもらったりして、最後まで頑張ることができました。1人では頑張り続けるのはつらいと思うので、周りの人を頼りながら、試験勉強を頑張りたいと思います。応援しています！

仲間と共に高め合おう

I. A 【愛知県庁】 地方公務員

①就活スケジュール

3年生6月：学内公務員講座で試験勉強開始

4年生4月：1次試験（筆記）スタート

5月：2次試験（面接）スタート

6月：1次試験ピーク

7月：2次試験ピーク

8月：合格発表

受験先：豊田市役所、東京都特別区、裁判所事務官（一般職）、岡崎市役所、国税専門官、三重大学事務職、国家公務員一般職、愛知県庁、大学法人東海北陸、一宮市役所

②試験対策

【1次試験】

大学の公務員講座を受講していました。10月からは授業もほとんどなかったので、10時頃から講座までの時間に、友人と自習室で勉強していました。苦手な科目が多かったので、友人にたくさん教えてもらい助けてもらいました。昼休みに友人とおしゃべりするのが良いリフレッシュになっていました。

また、併願先である豊田市役所はSPI試験だったため、SPIも少し勉強しました。民間志望の方も、最近ではSPIで受けられる市役所が増えているので興味のある方はぜひ受けてみてください。

【2次試験】

公務員講座の面接対策講座で対策していました。先輩に面接官役をしていただき、アドバイスをもらったり、友人同士で面接をし合ったりしました。志望先のことをたくさん調べ、面接で何を聞かれても困らないように対策しました。愛知県庁のことは『あいちビジョン2020』で勉強したり、新聞の県内版の記事を読んだりしていました。

また、地方公務員は2次試験の配点が高いことが多いので、説明会や職場見学など積極的に参加すると良いと思います。

③就活を振り返って

公務員試験は長期戦なため、辛いこともたくさんありました。ですが、私は周りの友人に恵まれ、たくさんの人に支えられて乗り越えることができました。1人で抱え込まず、仲間と支え合いながら、がんばって欲しいと思います。応援しています。

自分を信じて

S.S【愛知県庁・警察事務】地方公務員

○説明会への参加

3年の12月以降、説明会はできる限り参加するように心がけていました。私は、大学入学前から警察関係の職業に就きたいと考えていたので、他の説明会には合同説明会の時に参加するだけでした。今になって考えてみると、もっと説明会に参加しておけばよかったとも感じます。興味のないと思っていた仕事でも話を聞いたり、職員の方に接したりことで感じ方が変わることもあると思います。また、他の業務の話聞くことで、たくさん職がある中で自分がなぜその業務を選んだのかを明確にすることもできると思います。なので、まだ迷っている人はもちろんのこと就きたい職が決まっている人も積極的に多くの説明会に参加してほしいです。

○筆記試験対策

学内の公務員講座を受講していたので、講座の問題集を繰り返し解き、模試を受験して復習していました。特別なことはしていません。本番、得意にしていた分野で点数がとれなかったときがありました。苦手な科目を勉強するのには力を使いますが、満遍なく勉強することをおすすめします。

○面接対策

基本的には公務員講座の面接対策に参加して、練習していました。また、毎日新聞を読むように心がけていました。一次試験後は同じ警察系を目指している子たちと空いている時間に集まって練習し、アドバイスしあいました。最初は緊張しますが、数をこなすことで誰でも上達することができるので、たくさん練習するべきだと思います。

○就職活動を振り返って

面接体験について少し書きます。私はもともと緊張しやすかったので、たくさん練習することで慣れたものの、試験で初めての面接本番のとき極度の緊張から涙目になってしまいました。しかしながら、そこからは合格をいただきました。今考えると、しっかりと正直に受け答えしていたのが良かったのかなと思います。自分をよく見せようとして、嘘を並べても面接官には見破られます。自分のことを正直に伝えて欲しいです。

試験が近づいてくると不安になってくると思います。ですが、最後まで自分を信じて諦めないでください。頑張った分だけ必ず結果はついてきます。応援しています！

自分に合った方法をさがそう

N・K【愛知県庁】地方公務員

○進路決定までの流れ

- 6月～ 公務員講座スタート
- 12月 愛知県庁の説明会、職場見学会に行く
- 2,3月 国家系の説明会に参加する、面接カードを少し書く
- 4月 出願、勉強に力を入れ始める
- 6月 1次試験(筆記)
- 7月 本格的に面接練習開始、2次試験本番(論文、面接)
- 8月末 合格発表

○筆記試験について

生協の公務員講座を受講していました。しかし私の場合3年後期から学部の授業が週2になり、愛知県から2時間弱かけて通学していたので、講座の講義には以降ほぼ出ず録画DVD

をまとめて借りて早送りして家で見ていました。電車内でしっかり勉強できれば別ですが、無理だと思ったら潔く自宅勉強派になるのも一つの手だと思います。時間は何よりも大切です。ただし、サボらない強い意志を持ちましょう。

公務員試験は教科数が多く学力を維持するのが大変です。がむしゃらに勉強するのではなく、志望度の高い試験日にピークを持ってくるように計画を立てると、効率よく学力向上に繋がると思います。模試などで点がとれなくても、焦らず自分のペースを保つ事が重要です。

○面接対策について

面接対策は、友達同士や公務員講座、キャリアセンターやおしごと広場みえ、ハローワークなどあらゆるものを利用し、自分に合った練習方法を見つけました。

個人的なおすすめはおしごと広場みえと名古屋市伏見にある新卒応援ハローワークです。前者は予約が必要で回数制限もありますが、自分が利用した中で一番本番に近い形で練習が出来ました。後者は基本的に民間向けですが、愛知県内の主要な自治体を受けるなら十分なサポートが受けられます。さらに相談や面接カード添削は予約もいらず急に行っても受け付けてもらえるので重宝しました。名古屋近辺から通学している人は一度行ってみてもいいと思います。

私は1次試験終了後から面接対策を始めました。しかし余裕があればそれより前に一度本番形式の模擬面接を受けるといいと思います。人によって面接の得意不得意があるのでそれが分かっているだけでかなり直前の対策がしやすくなります。

○就職活動を振り返って

思い返せばもっと要領よくやれたなと思いますが、時間の許す限り迷って悩んで不安になるのも良い機会だったと思っています。ただ、併願は片っ端からするのではなく、ある程度調べて少しでも自分がそこで働く姿が想像出来るところだけにしておけば良かったかなとだけ感じました。行くつもりが全くなくても受けるからにはとって自分のペースを崩しがちだし、結果点が取れないので不安が増すだけでした。

自分のペースをしっかり持って皆様が納得のいく就活が出来るよう応援しています。

とにかく欲張ること！

○. M【三重県庁】地方公務員

1. 就活・採用試験のスケジュールまたは進路決定までの流れ

- 3年 6月～ 公務員講座
- 8月～ インターンシップ

- 10月～ 面接練習
 - 12月～ 合同企業説明会
 - 3月～ 個別企業説明会
 - 4年 5月～ 採用試験、内定
 - 8月～ 内定者交流会
 - 9月 三重県庁の内定を受けてそれ以外の内定を辞退。進路決定。
- ※「6月～」…7月以降も続くという意味です。

2. 就活情報サイト、合同企業説明会

就活情報サイト…マイナビ、リクナビ、就活会議、みんなの就職活動日記、カシャの評判
合同企業説明会…マイナビ、リクナビ、三重大学、商工会議所

3. 試験対策、面接対策、自己分析、自己PR、エントリーシート

試験対策…参考書で形式を確認した程度で、特に対策はしていない。

面接対策…マイナビ（学内で参加できる）、三重大学、公務員講座、インターンシップ等で回数を重ねた。

自己分析…友人に自身の性格や特徴を教えてもらった。部活動、高校時代、頑張った事など自身の色々な側面でのエピソードを用意した。

自己PR…部活動に注力してきたのでそのエピソードや功績を前面に押し出した。

エントリーシート…友人、ゼミの先生、公務員講座の先生などに添削してもらった。

4. 情報収集、企業分析

就活サイト、ホームページ、説明会、OB訪問を活用した。

企業の方の人柄や雰囲気は実際に会わないと理解できないので対面の機会は必須。

5. 就職活動を振り返って、アドバイス、就活のポイント

私が1番伝えたいのは、「とにかく欲張ってほしい」ということです。40年間働く企業を決めるのですから、できる限り色々な業界、色々な企業を見て、大企業でも競争率の高い企業でもどんどん挑戦して納得できる就活にしてほしいです。

ここで実用的なアドバイスを2つ挙げます。1つ目は「愛嬌」です。面接では鋭い回答をする事より、一緒に働きたいと思わせる事が大事です。笑顔・明るい声・清潔感・綺麗な姿勢は必須で、説明会で質問したり、自分の名刺を作って渡したり、とにかく可愛い後輩になりましょう。

2つ目のアドバイスは「情報戦」についてです。採用試験や面接の内容は基本的に口外禁止ですが、実は就活サイトで共有されています。面接でどんな質問が聞かれるか調べて準備できたら心強いですし、印象に残る回答を1つ用意できるというのは大きく有利になります。

自分を信じること

H・M【三重県庁】地方公務員

1. 就活スケジュール

大学3年：5月→公務員講座はじまる。

3月→三重県庁のイベント・説明会参加

大学4年：4月末～6月末→1次試験終了

6月末～7月上旬→各官庁説明会（国家一般職向け）

7月中旬～8月末→2次試験（&官庁訪問）終了

2. 試験対策方法

<1次試験>

とにかく問題を解きまくることが大切です。学内講座を受けている方は講座の問題集を、受けていない方はできるだけ各科目の問題集は集めて解いた方が良いでしょう。あとは模試を積極的に受けることもおすすめします。教養試験と論述試験はとにかく時間が足りません。時間配分を身につけるためにも模試は重要だと思います。

<2次試験>

日頃からアルバイトやサークル活動をしている中で面接のネタになりそうな事柄を探してメモすることが後々役に立ちました。例えば、アルバイト先でクレームの対処があれば、その内容と解決方法などをメモすることで、それがそのまま面接カードに記入できます。

あとは、志望先のHPは日頃からチェックして、説明会などにも積極的に参加しておくことで志望度の高さを本番の面接で発揮できるのでおすすめします。

3. アドバイス

私は公務員一本に決めて就活をしていました。スケジュールを見たとおり、公務員を目指すには、かなりの長期間を戦い続けなければなりません。周りの民間組は早々に内定をもらっていることもプレッシャーになりますし、勉強してもほんとに身につけているのか、民間も受けておいた方が良かったのではないかと不安にもなりました。1次試験と2次試験の対策の両立にも悩みました。しかし、自分を信じてください。民間は日時的に公務員より早いに過ぎないことで、試験対策のバランスも1次（筆記）と2次（面接）のどちらが得意で不得意なのかは人それぞれなのだから不得意な方を集中して対策すれば良いと割り切り、その決断を信じて進むことが大切です。あまり焦らず、自分のペースを維持しながら頑張ってください。

仲間を見つける

Y・R【三重県警察】地方公務員

○就活・採用試験スケジュール *2019年度の場合

警察の試験は他の公務員試験より日程が早く、一次試験が4月下旬から5月上旬にかけて行われます。三重県警察は一次試験に筆記・体力試験、二次試験に論作文・20メートルシャトルラン、別日に面接が行われました。一次試験の合格発表までは約2週間、最終合格発表は二次試験から約1ヶ月程度でした。

○試験対策

筆記試験は教養のみで、50問中約15問が数的処理の問題であるため、数的処理の問題集は分からない問題をなくすまで徹底的にやりました。模試後は、模試で間違えたところや暗記できていない部分をノートにまとめ、スキマ時間や模試・試験前日等に見直せるようにしていました。警察の試験は他の公務員試験より早い日程で行われるため、練習で受ける人が多くいます。そのため、特に採用予定人数が少ない女子の筆記試験はとても重要になります。資格加点で5点は貰えるので、早めにチェックしておくことがいいと思います。

体力試験対策は、家の中でできる腹筋・腕立て伏せは3年生から毎日行いました。20メートルシャトルランの練習は3年生の1月くらいからほぼ毎日行いました。ランニングとはまた違う感覚なので一次試験が終わってからも数回はやっておくべきだと思います。面接対策は、3年生の10月から公務員講座の面接対策講座に参加して行いました。また、一次試験以降は、公務員講座の先生方の個別面接練習や、面接対策講座で知り合った警察官志望の人たちと時間を合わせて行っていました。

○情報収集

昨年から三重県警察がインターンシップを始めたため、年3回行われたインターンシップに全て参加し、人事の方と顔見知りになったり、警察学校に通う警察官の方からアドバイスを頂いたりしました。インターンシップや警察学校のオープンキャンパスに参加していたので説明会は一度も行きませんでした。

○公務員志望者へのアドバイス

警察官を目指す女性の方は三重大学でも少なく、公務員講座を受けていましたが、最初の方は心細かったです。しかし、インターンシップやオープンキャンパス、面接練習などを通して警察官を目指す人とたくさん知り合うことができ、モチベーションを維持することができました。ライバルではありますが、お互いに高め合うこともできます。1人で試験に向かうより、誰か話し合える人を探してみるのもいいと思います。